

鈴鹿市
子ども読書活動に関するアンケート
結果報告書

令和5年9月

鈴鹿市

目次

1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収率	2
6	報告書の見方	2
7	調査結果	3
	【I 保育所（園）・幼稚園・認定こども園の保護者アンケートの結果】	
	問1. お子さんは絵本を読む（見る）または、読み聞かせてもらうのが好きですか。	3
	問2. お子さんは普段、どのように本と接する機会がありますか。	3
	問3. ご家庭で、お子さんに読み聞かせをしていますか。	4
	問4. 1回の読み聞かせの時間を教えてください。	5
	問5. 読み聞かせを始めた時期を教えてください。	5
	問6. 読み聞かせをする本をどこで入手されていますか。	5
	問7. 読み聞かせをしてよかったことを教えてください。	6
	問8. 家庭内で、読み聞かせをしない理由を教えてください。	8
	問9. 子どもが、読書が好きになり本を読む習慣をつけるためには何が必要だと思いますか。	9
	問10. お子さんに電子書籍を使って読み聞かせをしたことがありますか。	9
	【II 小学2年生、小学4年生、小学6年生、中学2年生、市内高校2年生アンケートの結果】	
	問1. あなたは、本を読むことが好きですか。	10
	問2. あなたは、1か月に何冊くらいの本を読みますか。	10
	問2-1. 本を読む理由を教えてください。	13
	問2-2. 本を読まない理由を、教えてください。	13
	問2-3. 本を読む時間がない理由を教えてください。	14
	問3. あなたは、どこで本を読みますか。	15
	問4. あなたはどんな本をよく読みますか。	16
	問5. 学校図書館へ、授業以外で、どのくらい行きますか。	17
	問6. 学校図書館でどのようなことをしますか。	18
	問7. あなたは家で、家族から読み聞かせをしてもらいますか。	19
	問8. あなたは市立図書館へどのくらい行きますか。	22
	問8-1. 図書館を利用しない理由を教えてください。	22
	問9. 市立図書館で、どのようなことをしますか。	23
	問10. あなたは市立図書館の貸出カードを持っていますか。	24
	問11. 市立図書館の「おはなし会」に参加したことがありますか。	26
	問12. あなたは電子書籍を読んだことがありますか。	26
	問13. あなたは読みたい本をどこで入手しますか。	28
	読書活動の課題	29

1 調査の目的

鈴鹿市において令和5年度に「第4次鈴鹿市子ども読書活動推進計画」を策定するに当たり、子どもたちの読書観や読書活動の現状を把握し、計画策定にあたっての基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施した。

2 調査対象

- 1 保護者
 - 5歳児の保育所（園）・幼稚園・認定こども園
- 2 児童・生徒
 - 小学2年生、小学4年生、小学6年生
 - 中学2年生
 - 市内高校2年生

3 調査期間

2023（令和5）年2月16日から3月15日まで

4 調査方法

学校・保育所等にアンケート依頼文書と回答用 URL・QR コードを送付。（インターネット回答のみ。）

保育所（園）・幼稚園・認定こども園は5歳児の保護者が回答し、小学2年生、小学4年生、小学6年生、中学2年生、市内高校2年生は児童・生徒本人が回答した。

5 回収率

対象学年	回答数	対象者数	回答率
保育所等 (保護者)	339	1,475	23%
小2	1,430	1,665	86%
小4	1,267	1,640	77%
小6	1,459	1,767	83%
中2	1,105	1,980	56%
高2	736	1,561	47%
全体	6,336	10,088	63%

6 報告書の見方

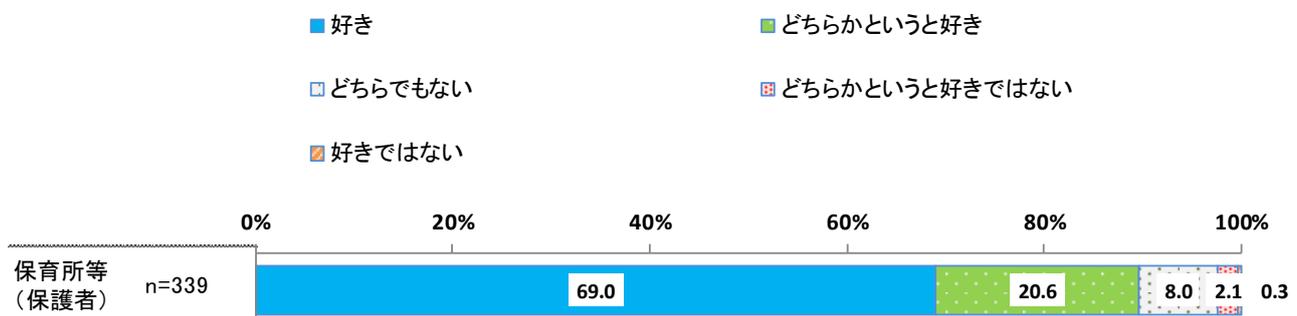
- (1) 図表中の「n」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を示しています。
- (2) 回答結果の割合はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、単一回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数選択（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の場合、回答結果の割合（%）は有効回答数に対して、選択肢ごとの回答数の割合を示しています。従って、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略している場合があります。また、選択肢の見出しを簡略化してある場合もあります。
- (5) クロス集計では、全体の数とそれぞれのクロス集計の合計が合わない場合があります。

7 調査結果

I 保育所（園）・幼稚園・認定こども園の保護者アンケートの結果

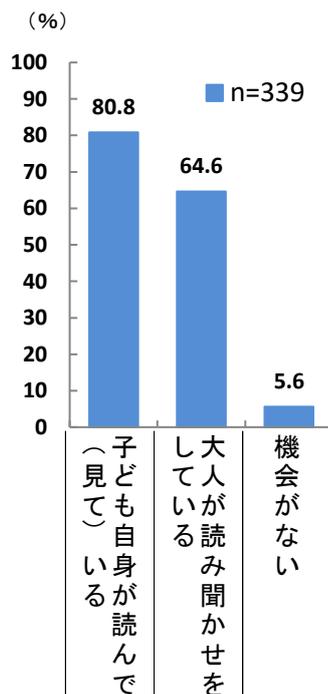
問1. お子さんは絵本を読む（見る）または、読み聞かせてもらうのが好きですか。
（1つ選択）

「好き」が69.0%で最も多い。次いで「どちらかというが好き」が20.6%、「どちらでもない」が8.0%の順になっている。「好き」と「どちらかというが好き」を合わせると89.6%と約9割を占めている。



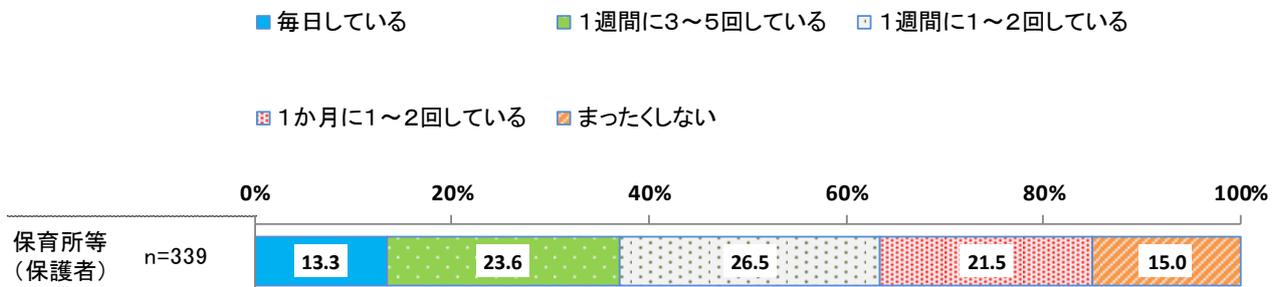
問2. お子さんは普段、どのように本と接する機会がありますか。（複数選択）

「子ども自身が読んで（見て）いる」が80.8%で最も多く、次いで「大人が読み聞かせをしている」が64.6%、「機会がない」が5.6%の順になっている。約8割の子どもが、5歳までに自身で読む（見る）ようになっている。



問3. ご家庭で、お子さんに読み聞かせをしていますか。(1つ選択)

「1週間に1～2回している」が26.5%で最も多い。次いで、「1週間に3～5回している」が23.6%「1か月に1～2回している」が21.5%の順になっている。約85%の家庭で、子どもに読み聞かせを行っている。

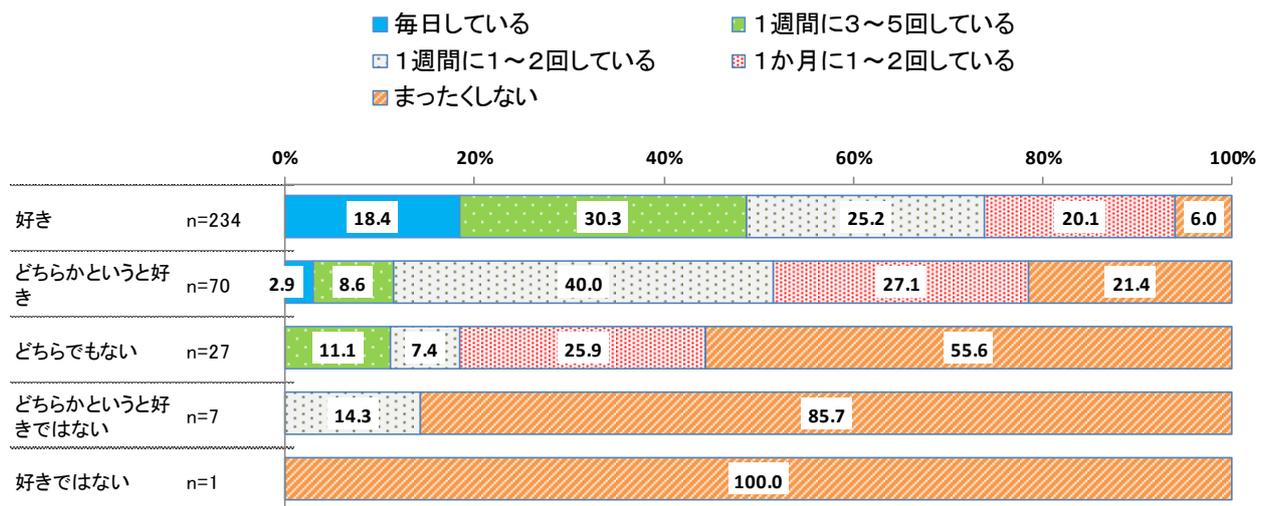


問1. お子さんは絵本を読む(見る)または、読み聞かせてもらうのが好きですか。

×

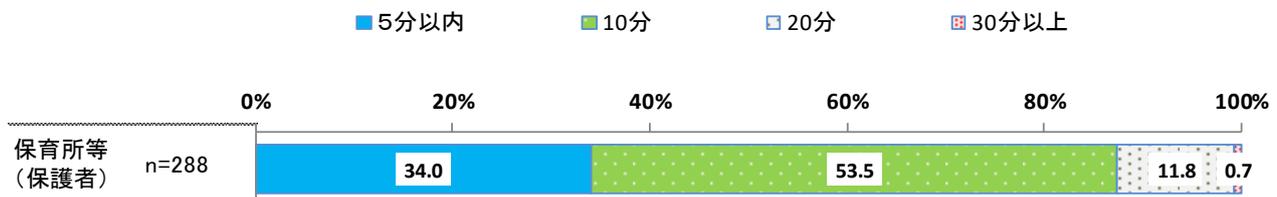
問3. ご家庭で、お子さんに読み聞かせをしていますか。

子どもが絵本を読む(見る)、読み聞かせてもらうのが「好き」と答えた人で読み聞かせをしている頻度は「1週間に3～5回」が30.3%で最も多い。次いで「1週間に1～2回している」が25.2%、「1か月に1～2回している」が20.1%の順になっている。読み聞かせを行っている家庭の子どもは、保護者から見て「読書が好き」と答えた割合が多い傾向がみられる。



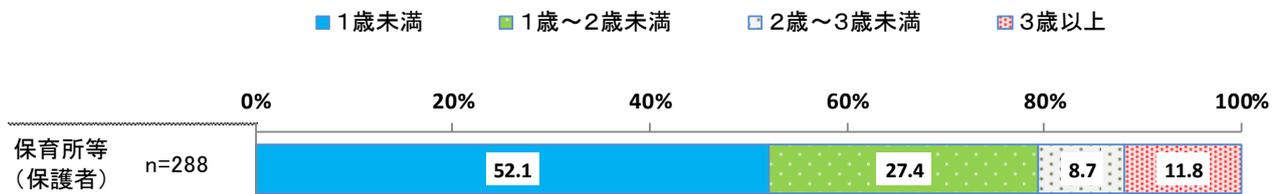
問4. 1回の読み聞かせの時間を教えてください。(およそで結構です)(1つ選択)

1回の読み聞かせの時間は「10分」が53.5%で最も多い。次いで「5分以内」が34.0%、「20分」が11.8%の順になっている。



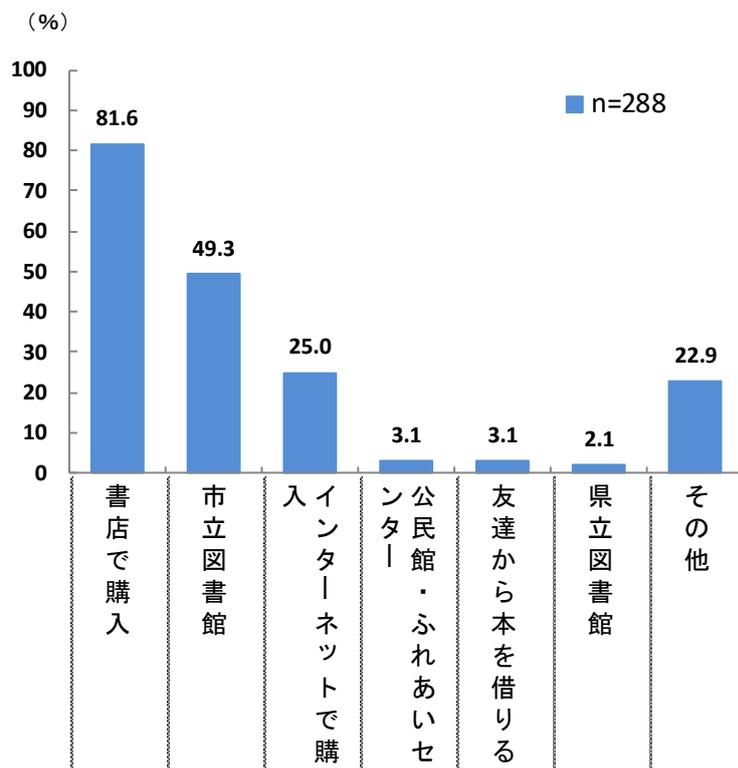
問5. 読み聞かせを始めた時期を教えてください。(1つ選択)

「1歳未満」が52.1%で最も多い。次いで「1歳～2歳未満」が27.4%、「3歳以上」が11.8%の順になっている。約8割の家庭で子どもが2歳になるまでに読み聞かせを始めている。



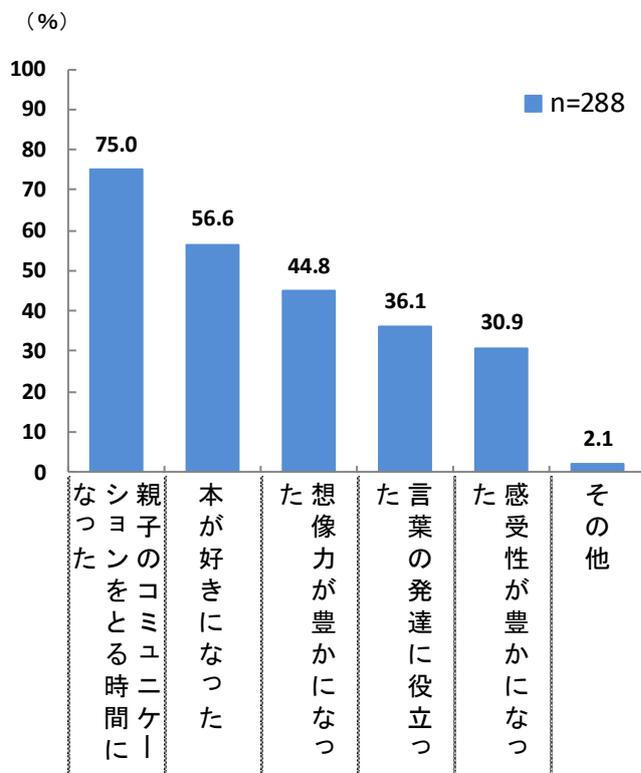
問6. 読み聞かせをする本をどこで入手されていますか。(複数選択)

「書店で購入」が81.6%で最も多い。次いで「市立図書館」が49.3%、「インターネットで購入」が25.0%の順になっている。「その他」の回答の中には、「幼稚園・保育園から借りる」という回答がいくつかみられる。



問7. 読み聞かせをしてよかったことを教えてください。(複数選択)

「親子のコミュニケーションをとる時間になった」が75.0%で最も多い。次いで「本が好きになった」が56.6%、「想像力が豊かになった」が44.8%の順になっている。

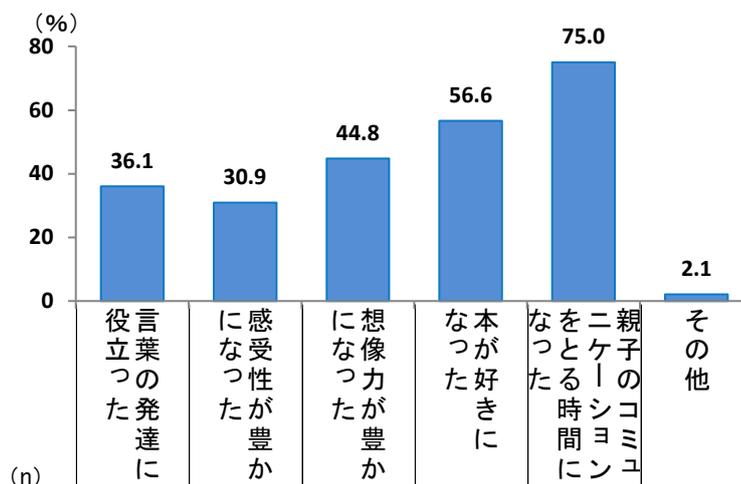


問1. お子さんは絵本を読む（見る）または、読み聞かせてもらうのが好きですか。

×

問7. 読み聞かせをしてよかったことを教えてください。

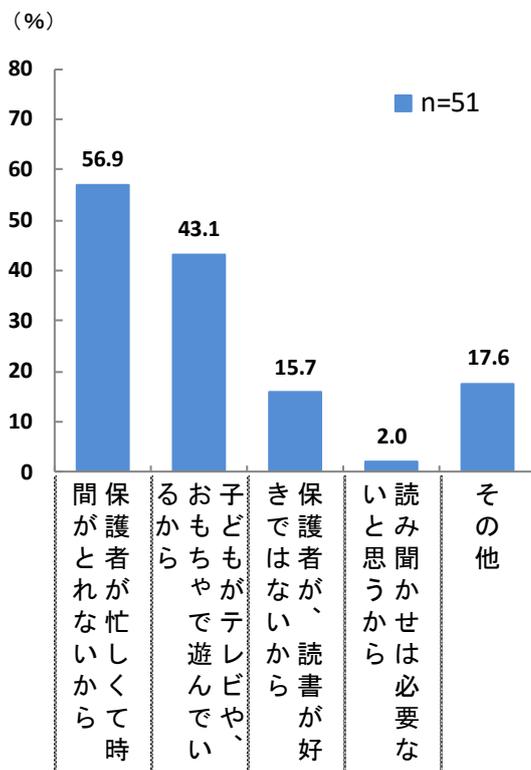
子どもは絵本を読む（見る）または、読み聞かせが「好き」、「どちらかというが好き」「どちらでもない」と答えた人の中で、読み聞かせをしてよかったこととして「親子のコミュニケーションをとる時間になった」が最も多い。



		(n)	言葉の発達に役立った	感受性が豊かになった	想像力が豊かになった	本が好きなようになった	親子のコミュニケーションをとる時間になった	その他
全体		(288)	36.1	30.9	44.8	56.6	75.0	2.1
問1 読み聞かせが好きな 絵本を読む（見る）	好き	(220)	39.5	34.1	45.5	67.7	78.6	1.8
	どちらかというが好き	(55)	27.3	20.0	38.2	21.8	61.8	3.6
	どちらでもない	(12)	8.3	16.7	58.3	16.7	66.7	-
	どちらかという好きではない	(1)	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-
	好きではない	(0)	-	-	-	-	-	-

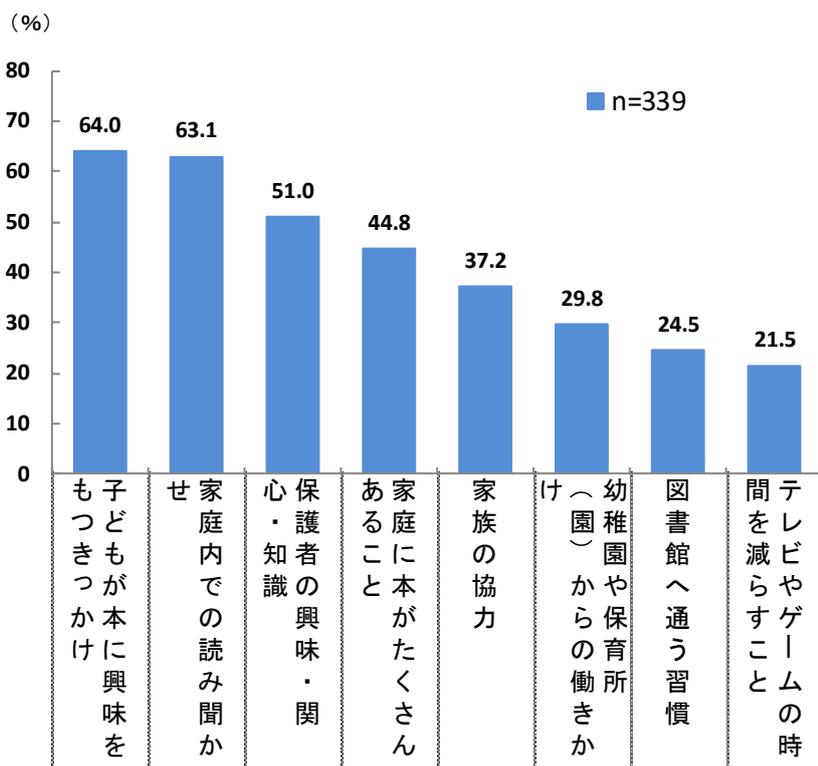
問8. 問3で「5. まったくしない」と答えた方にお聞きします。家庭内で、読み聞かせをしない理由を教えてください。(複数選択)

「保護者が忙しくて時間がとれないから」が56.9%で最も多い。次いで「子どもがテレビやおもちゃで遊んでいるから」が43.1%となっている。「その他」17.6%の中には、「子どもが自分で読むから」といった回答がいくつかみられる。



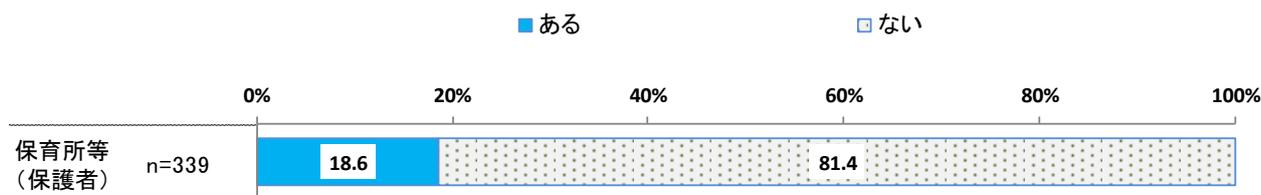
問9. 子どもが、読書が好きになり本を読む習慣をつけるためには何が必要だと思いますか
(複数選択)

「子どもが本に興味を持つきっかけ」が64.0%で最も多い。次いで「家庭内での読み聞かせ」が63.1%、「保護者の興味・関心・知識」が51.0%の順になっている。また、「家庭に本がたくさんあること」が44.8%、「家族の協力」が37.2%、「テレビやゲームの時間を減らすこと」が21.5%など、子どもが日常的に読書に親しむことができる環境も必要だと考えている保護者も多くみられる。



問10. お子さんにパソコン、タブレット、スマートフォンなどで電子書籍を使って読み聞かせをしたことがありますか。 ※学習まんがは含みます。コミックまんがは除きます。(1つ選択)

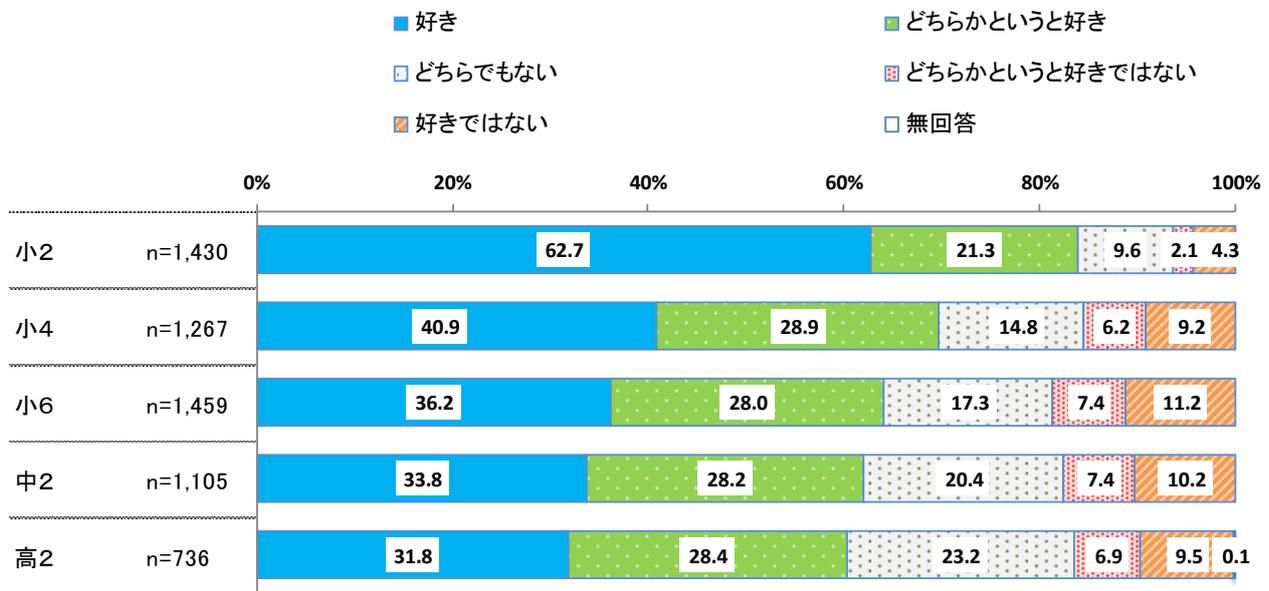
「ない」が81.4%、「ある」が18.6%となっている。約8割の家庭でパソコン、タブレット、スマートフォンなどで電子書籍を使って読み聞かせをしたことがないと答えている。



Ⅱ 小学2年生、小学4年生、小学6年生、中学2年生、市内高校2年生アンケートの結果

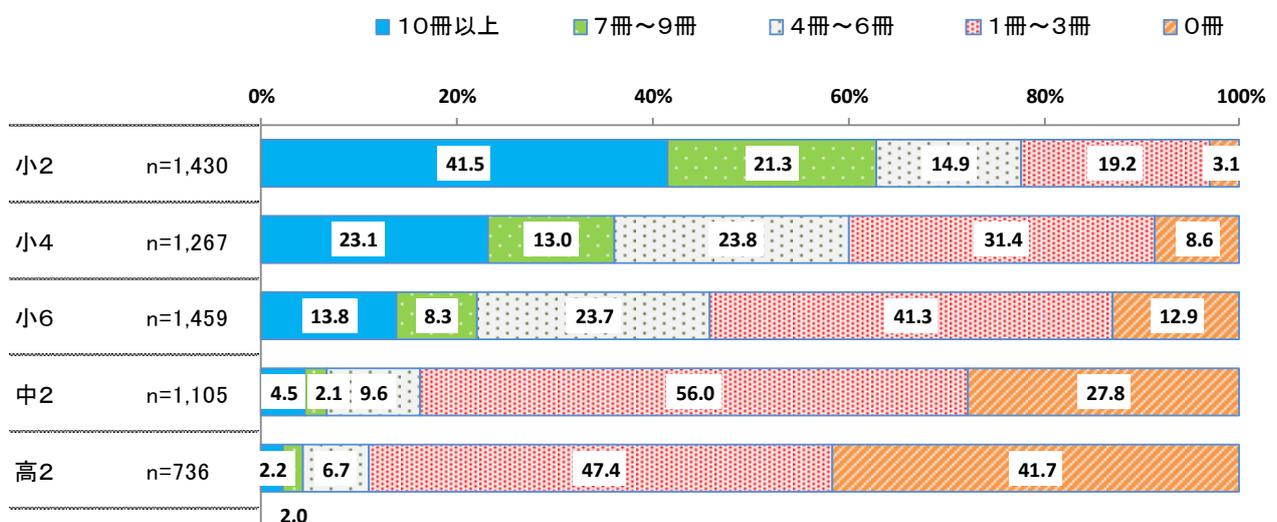
問1. あなたは、本を読むことが好きですか。(1つ選択)

どの学年も「好き」が最も多い。特に小学2年生で「好き」が62.7%で最も多い。次いで小学4年生で40.9%、小学6年生で36.2%となっている。学年が上がるにつれて、「好き」と回答した割合が低くなる傾向がみられる。



問2. あなたは、1か月に何冊くらいの本を読みますか。※学習まんがはふくみます。コミックまんがはのぞきます。(1つ選択)

小学生では、小学2年生で「10冊以上」が41.5%で最も多い。次いで「7冊～9冊」が21.3%、「1冊～3冊」が19.2%となっている。小学4年生、小学6年生では最も多いのが「1冊～3冊」次いで「4冊～6冊」という順になっている。中学2年生、高校2年生ではともに「1冊～3冊」が最も多く、次いで「0冊」という順になっている。学年が上がるにつれて、1か月に読む冊数が少なくなっていく傾向がみられる。



問1. あなたは、本を読むことが好きですか。

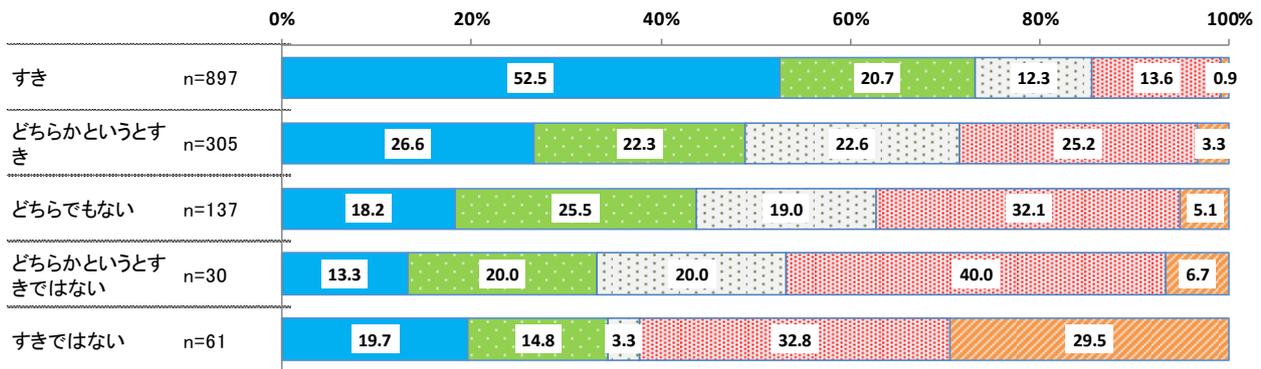
×

問2. あなたは、1か月に何冊くらいの本を読みますか。

どの学年においても、「好き」と答えた児童・生徒は、「好きではない」と答えた児童・生徒に比べて、1か月に読む本の冊数が多い。一方で、中学生と高校生は、「好き」と答えた生徒でも、小学生と比べると1か月に読む本の冊数が急激に減少する傾向がある。

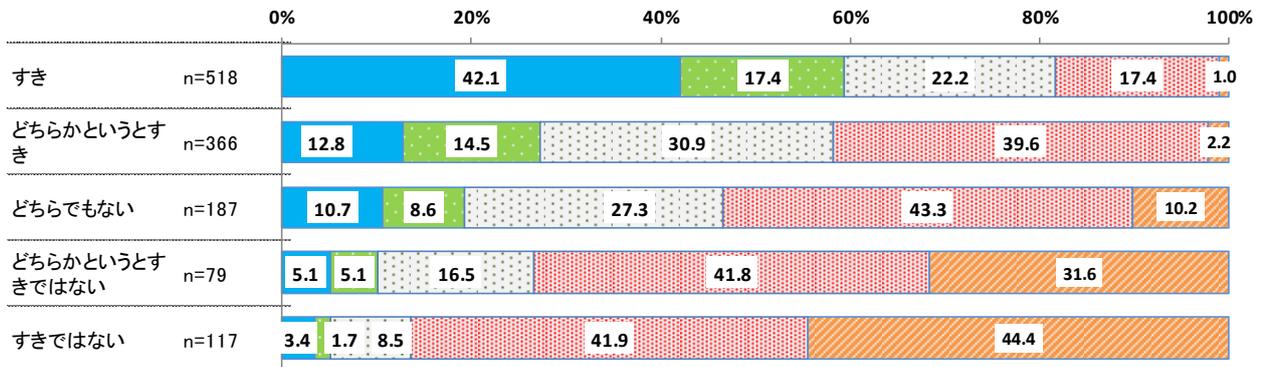
【小学2年生】

■ 10冊以上 ■ 7冊～9冊 ■ 4冊～6冊 ■ 1冊～3冊 ■ 0冊

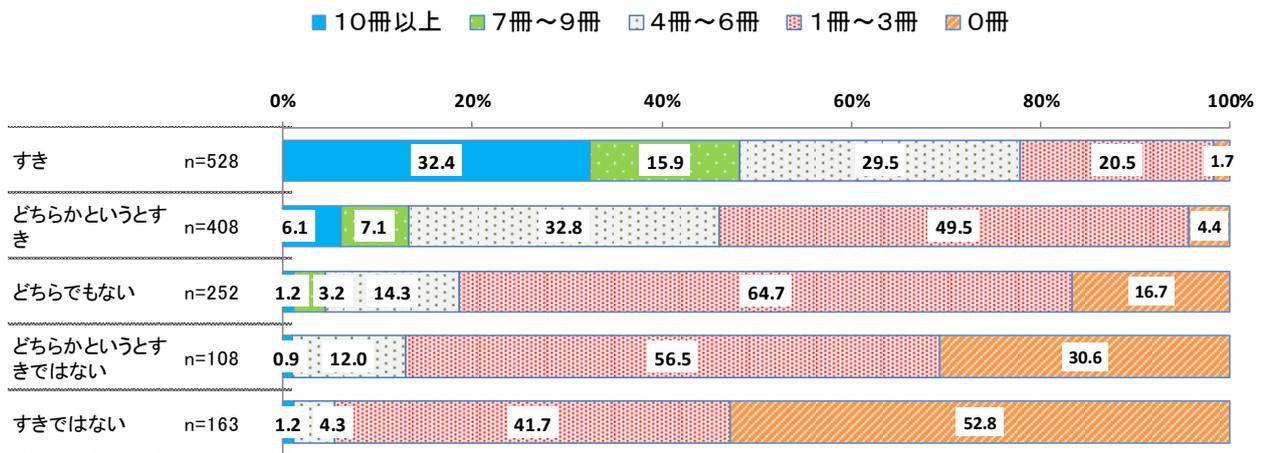


【小学4年生】

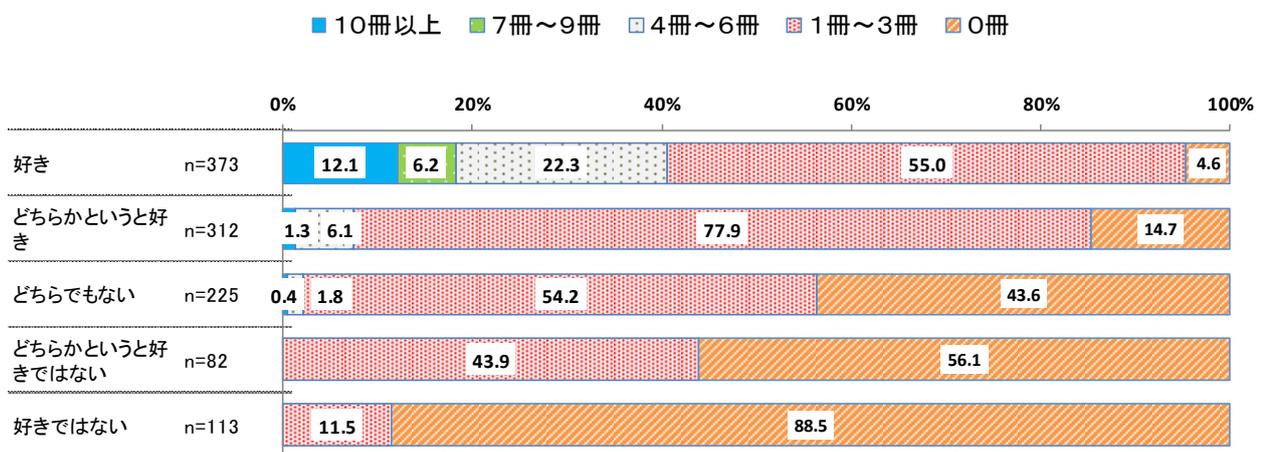
■ 10冊以上 ■ 7冊～9冊 ■ 4冊～6冊 ■ 1冊～3冊 ■ 0冊



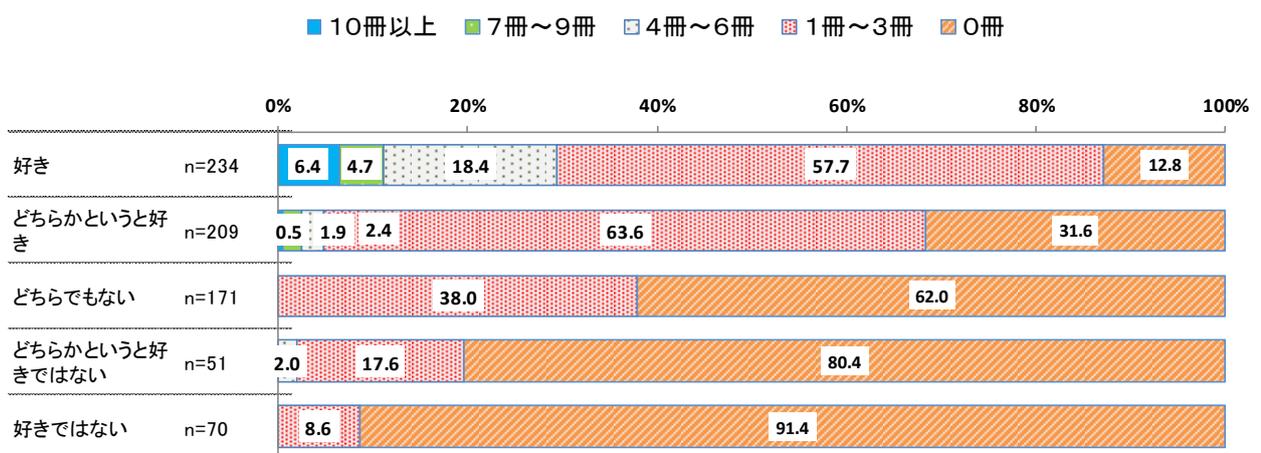
【小学6年生】



【中学2年生】

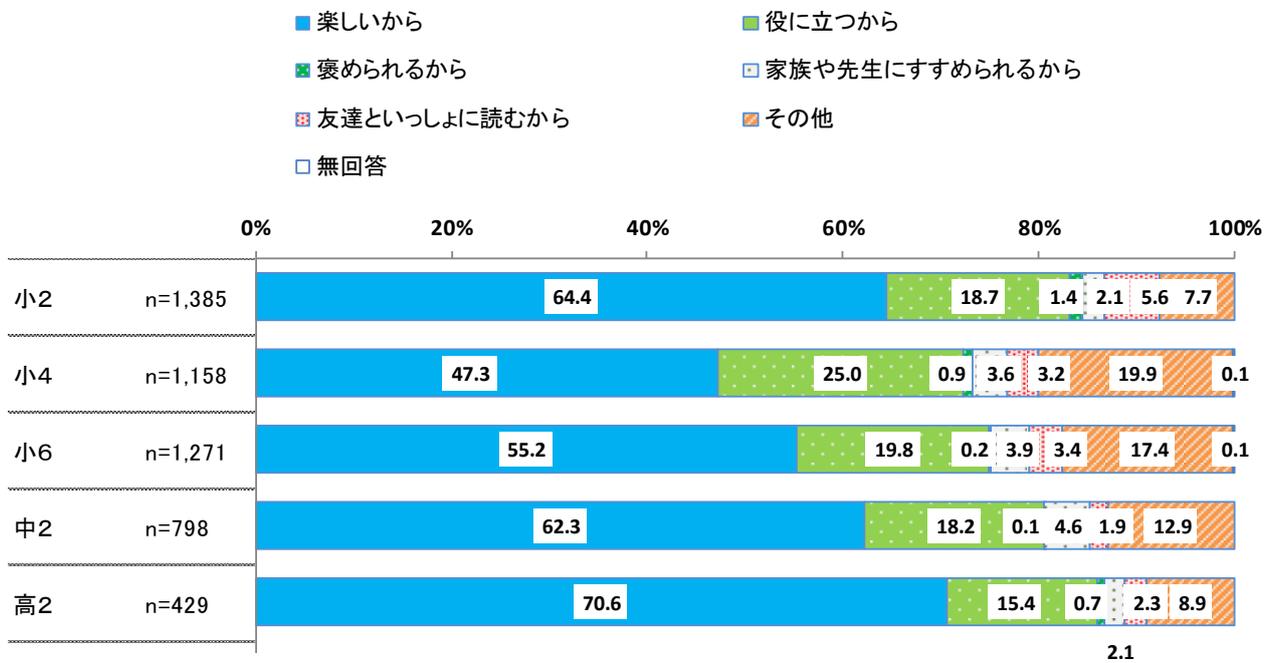


【高校2年生】



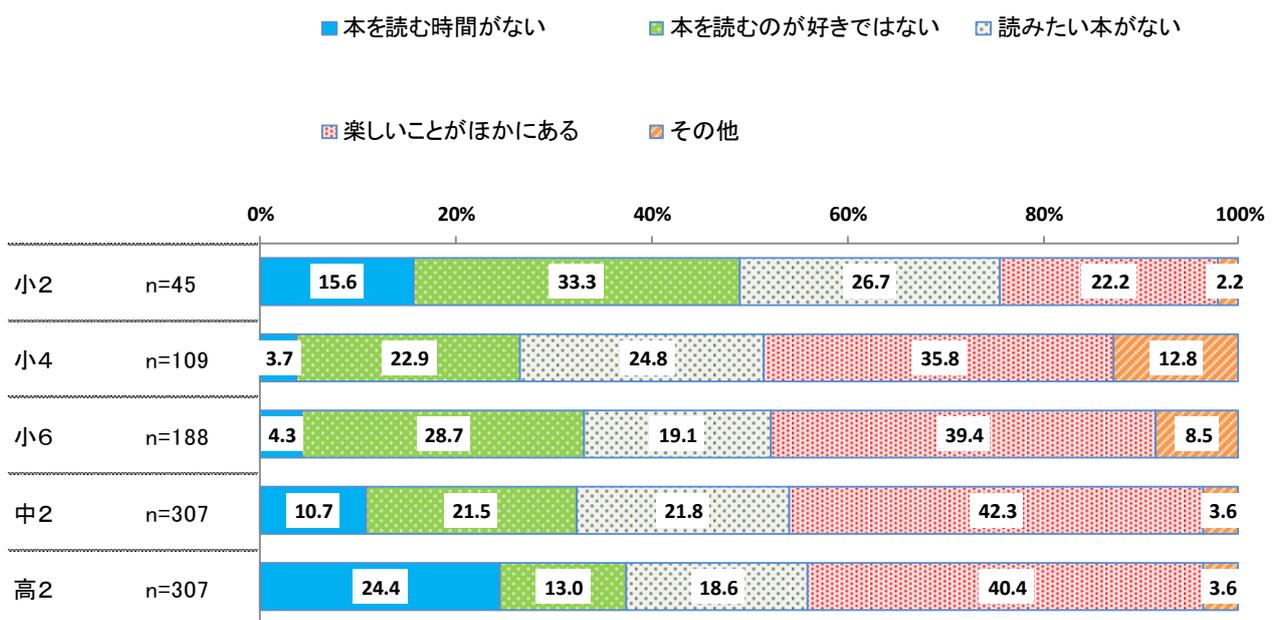
問2—1. 問2で、「10冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」と答えた人への質問です。本を読む理由を教えてください。(1つ選択)

どの学年においても「楽しいから」が最も多い。次いで「役に立つから」、「その他」の順になっている。「その他」の回答として、「暇つぶし」「学校で読書をする時間(朝読など)があるから」といった回答がいくつかみられる。



問2—2. 問2で、「0冊」と答えた人への質問です。本を読まない理由を、教えてください。(1つ選択)

小学2年生では「本を読むのが好きではない」が最も多く、小学4年生、小学6年生、中学2年生、高校2年生では、「楽しいことがほかにある」が最も多くなっている。

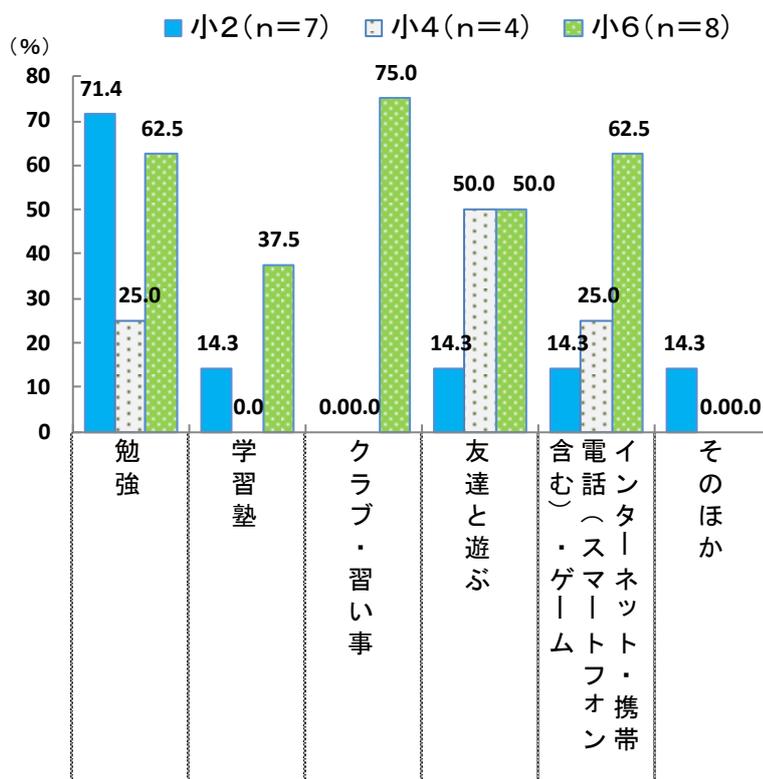


問2—3. 問2-2で「本を読む時間がない」と答えた人への質問です。本を読む時間がない理由を教えてください。(複数選択)

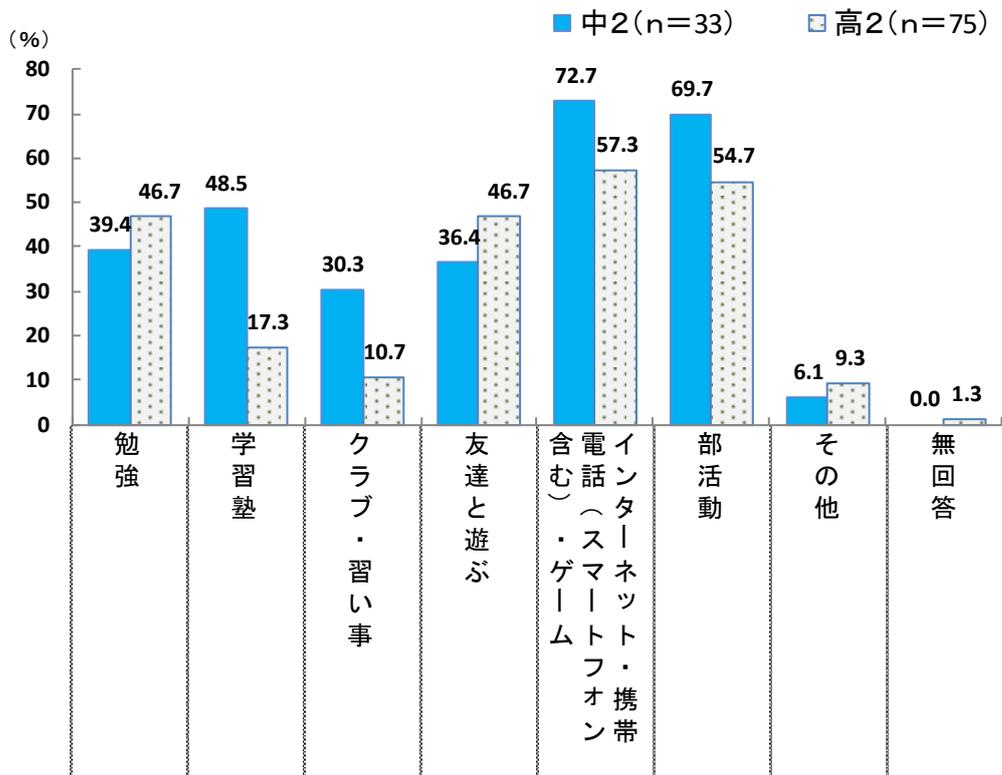
本を読む時間がない理由として小学生では、2年生で「勉強」が71.4%で最も多い。4年生では「友達と遊ぶ」が50.0%で最も多く、6年生では「クラブ・習い事」が75.0%となっていて学年によりそれぞれ最も多い理由が異なる。

一方で、中学2年生と高校2年生ではともに「インターネット・携帯電話(スマートフォン含む)・ゲーム」が最も多く、次いで「部活動」となっている。

【小学生】

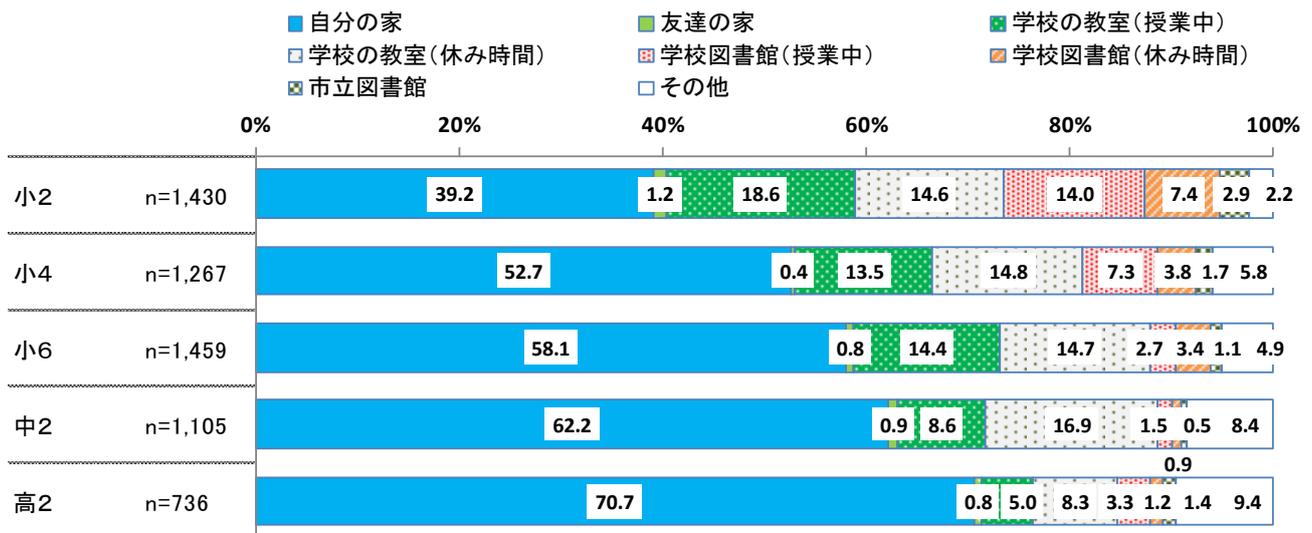


【中高生】



問3. あなたは、どこで本を読みますか。(1つ選択)

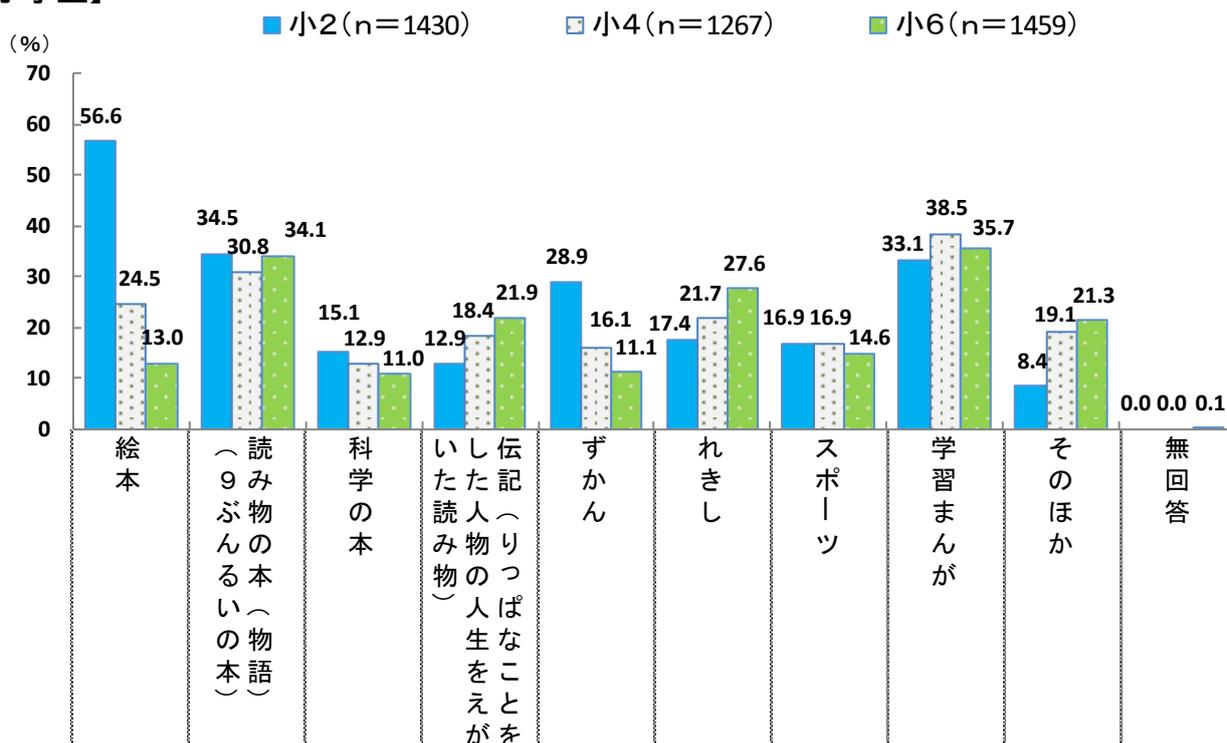
どの学年においても「自分の家」が最も多くなっている。学年が上がるにつれて、「自分の家」と回答した割合が高くなっている。



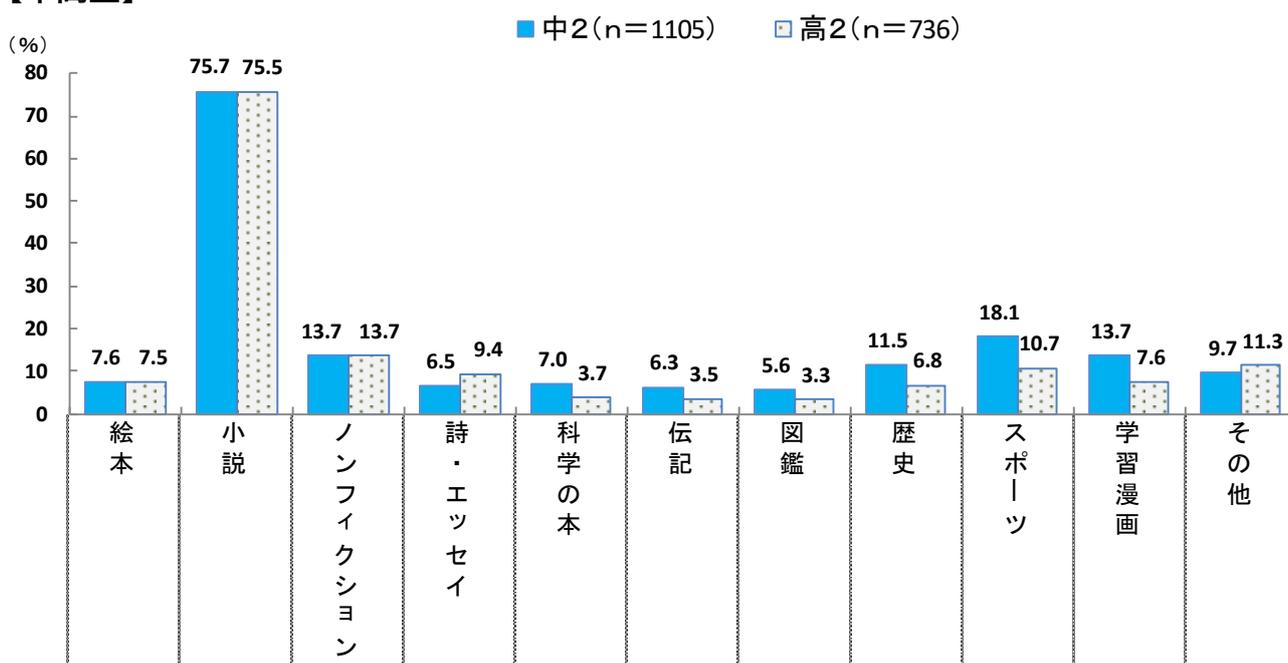
問4. あなたはどんな本をよく読みますか。(複数選択)

小学2年生では「絵本」が最も多く、小学4年生と小学6年生ではともに「学習まんが」が最も多くなっている。次いで多いものは小学2年生、小学4年生、小学6年生ともに「読み物の本(物語)(9ぶんるいの本)」である。中学2年生、高校2年生ではともに「小説」が最も多く、次いで中学2年生では「スポーツ」、高校2年生では「ノンフィクション」となっている。「その他」の回答として、どの学年でも「マンガ」「料理本」「読まない」などがいくつかみられる。

【小学生】

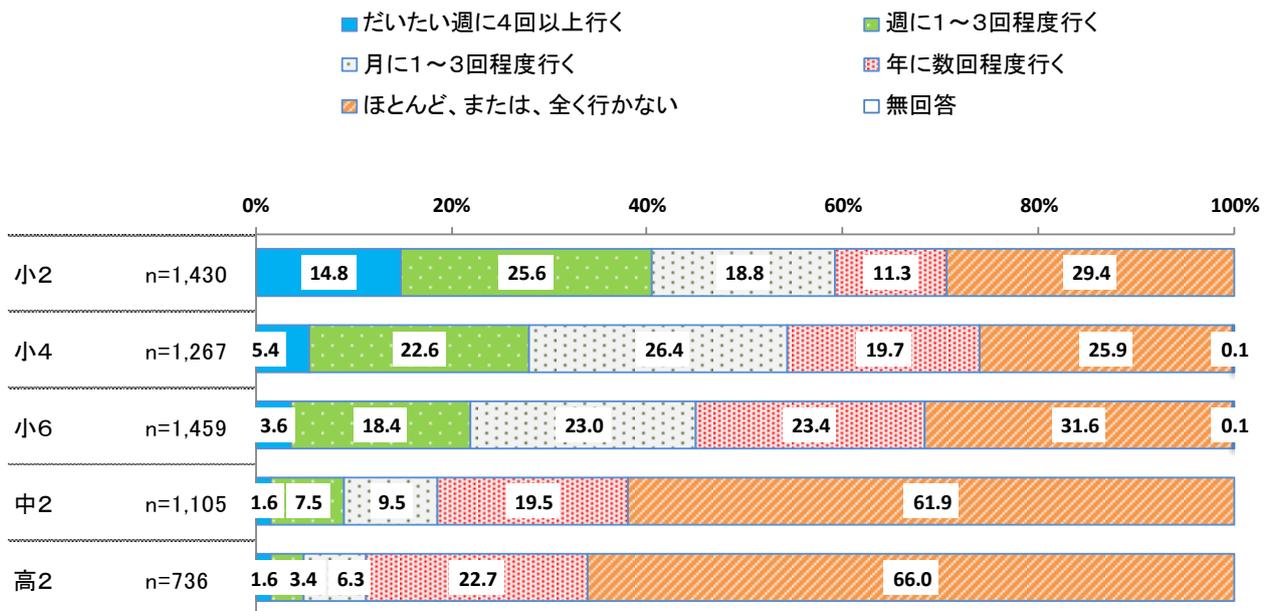


【中高生】



問5. 学校図書館へ、授業以外で、どのくらい行きますか。(1つ選択)

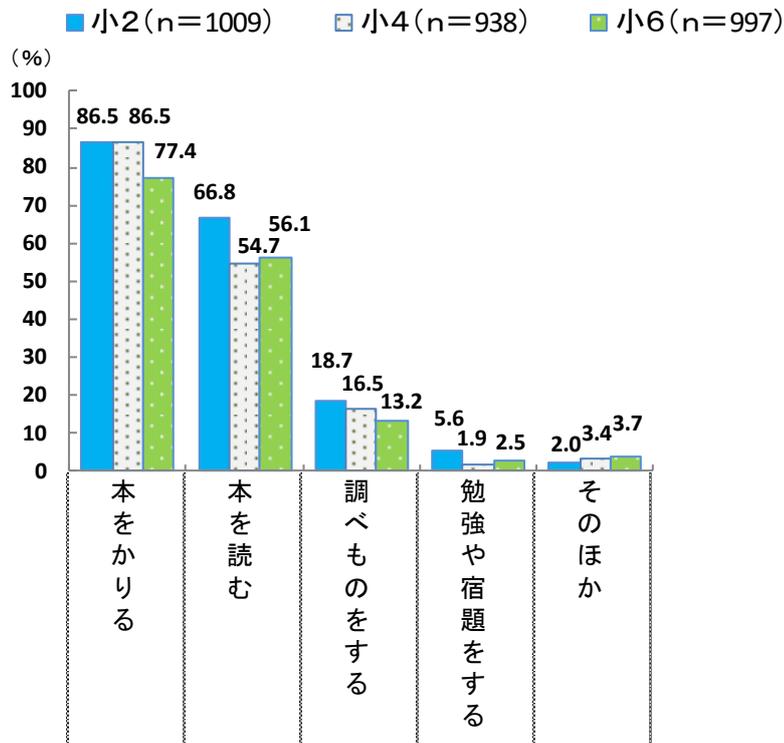
学校図書館へ授業以外で行く頻度について、小学生において小学2年生では「ほとんど、または、全く行かない。」が29.4%で最も多い。小学4年生では「月に1～3回程度行く」が26.4%、小学6年生では「ほとんど、または、全く行かない。」が31.6%で最も多くなっており、学年によりその頻度にばらつきがある。一方、中学2年生では「ほとんど、または、全く行かない。」が61.9%と最も多く、高校2年生でも「ほとんど、または、全く行かない。」が66.0%と最も多くなっている。



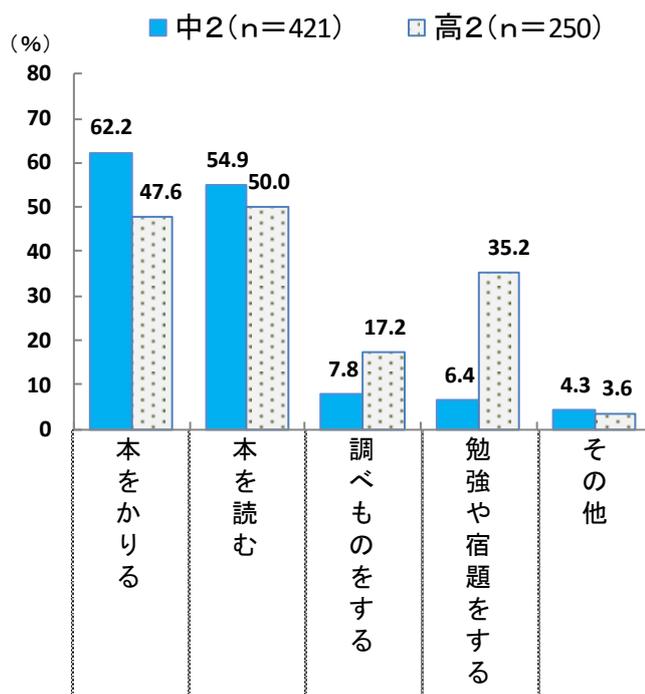
問6. 学校図書館でどのようなことをしますか。(複数選択)

小学生では、小学2年生、小学4年生、小学6年生ともに「本をかりる」が最も多く、次いで「本を読む」の順になっている。中学生2年生では「本をかりる」が62.2%で最も多い。次いで「本を読む」54.9%となっており、小学生と共通している。一方、高校2年生では「本を読む」が50.0%と最も多く、次いで「本をかりる」47.6%となっているほか、「勉強や宿題をする」割合が高くなっている。

【小学生】

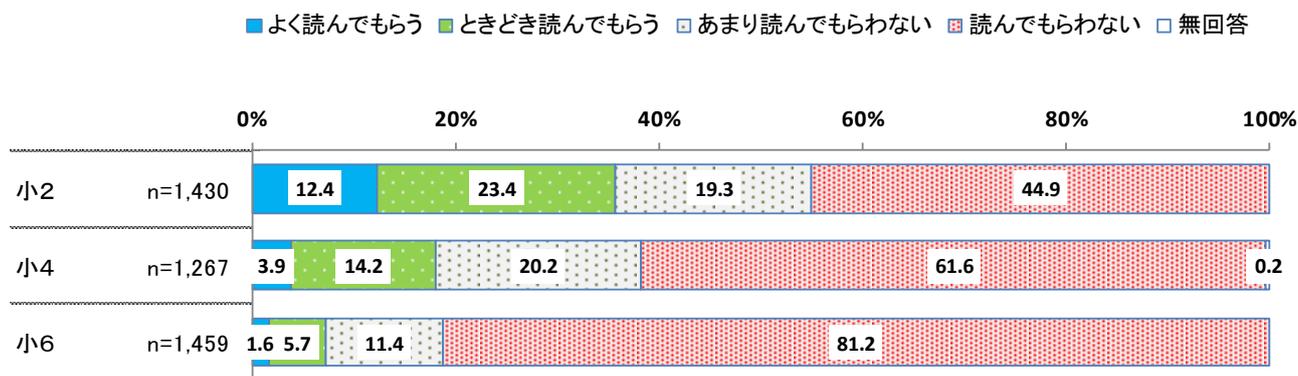


【中高生】



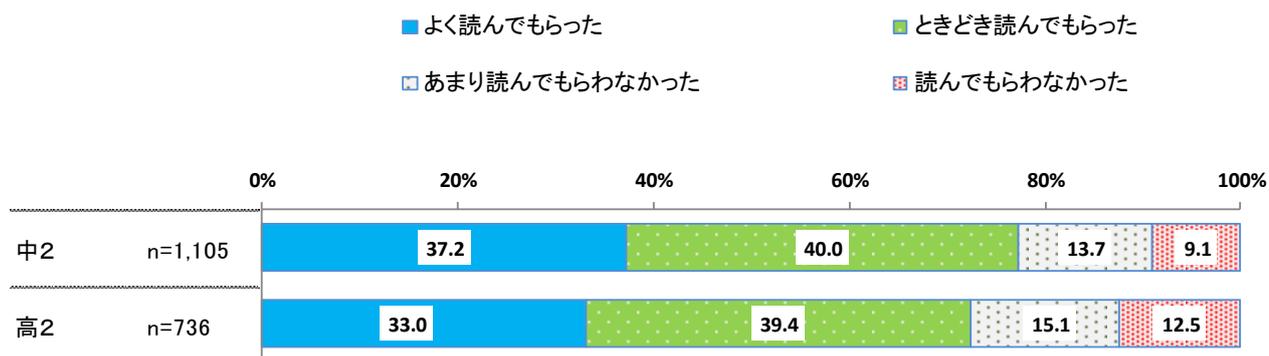
問7.【小2、小4、小6】あなたは家で、家族から読み聞かせをしてもらいますか。(1つ選択)

小学生では「読んでもらわない」が小学2年生、小学4年生、小学6年生ともに最も多い。次いで小学4年生、小学6年生では「あまり読んでもらわない」の順になっている。小学2年生だけ次いで「ときどき読んでもらう」の順になっている。小学生以降になると、ある程度は自身で読む習慣が身についてくることが考えられる。



【中2、高2】あなたは幼少期の頃、家で、家族から読み聞かせをしてもらいましたか。(1つ選択)

中学2年生、高校2年生ともに「ときどき読んでもらった」が最も多く、次いで「よく読んでもらった」、「あまり読んでもらわなかった」の順になっている。中学2年生、高校2年生ともに「よく読んでもらった」「ときどき読んでもらった」を合わせた「読んでもらった」の割合が7割を超えている。



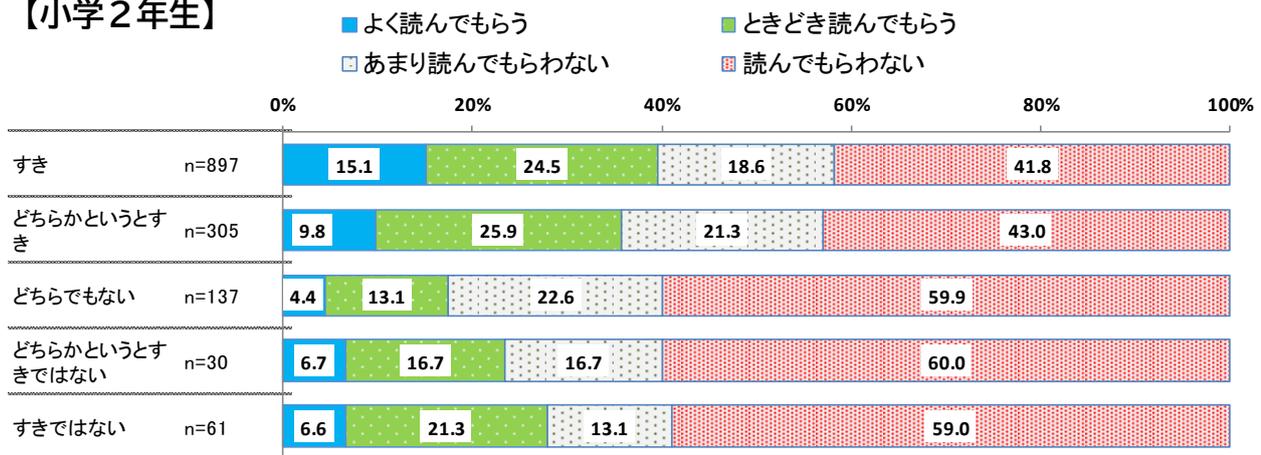
問1. あなたは、本を読むことが好きですか。

×

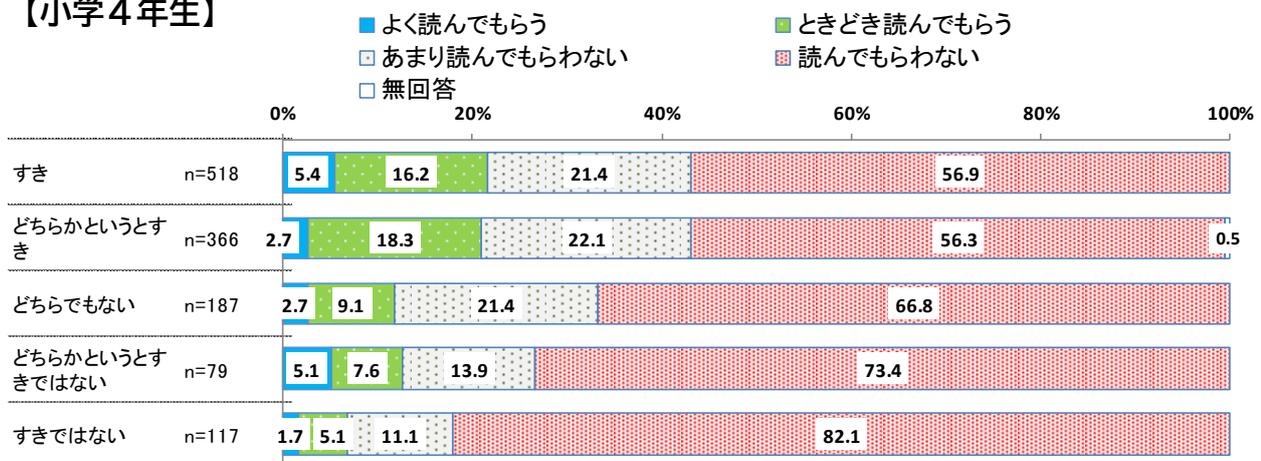
問7. あなたは家で、家族から読み聞かせをしてもらいますか。

どの学年でも、読書について「どちらかというとき好きではない」「好きではない」と答えた児童は、読み聞かせについて「読んでもらわない」を5割以上が選択している。小学2年生では「好き」「どちらかというとき好き」と答えた児童のうち「よく読んでもらう」「ときどき読んでもらう」「あまり読んでもらわない」を合わせた、読み聞かせをしてもらっている児童が約5割を超えている。

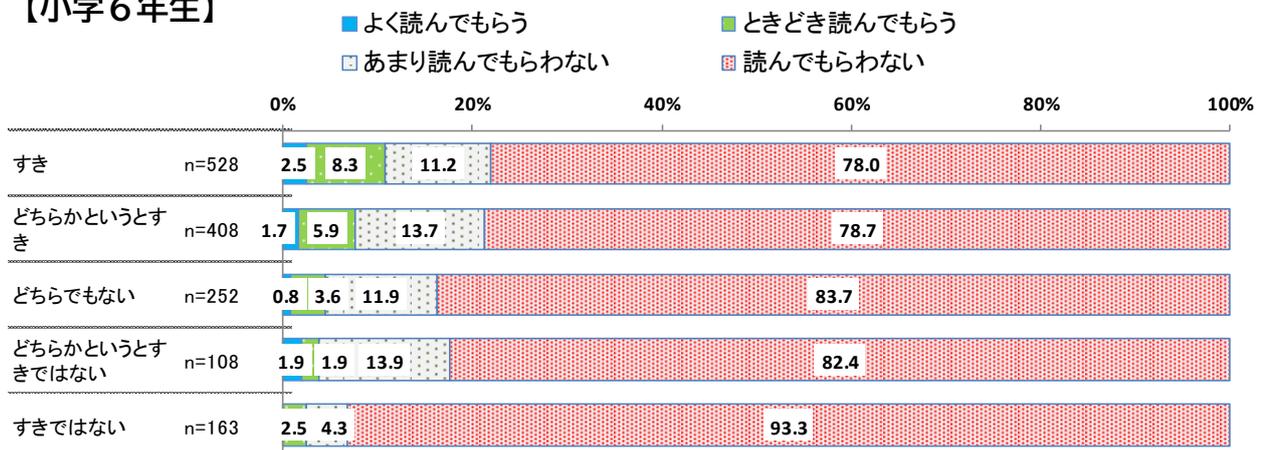
【小学2年生】



【小学4年生】



【小学6年生】



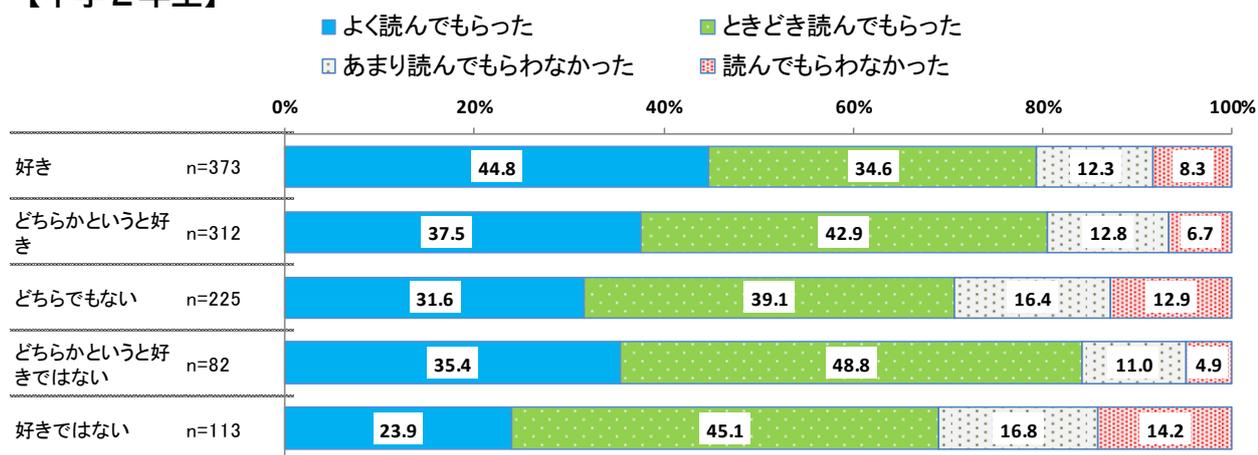
問1. あなたは、本を読むことが好きですか。

×

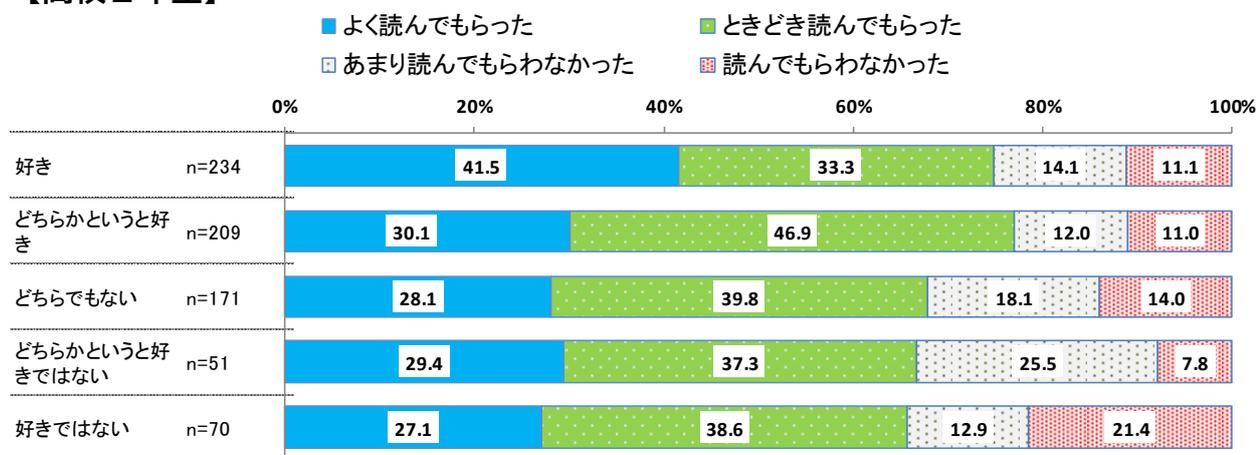
問7. あなたは幼少期の頃、家で、家族から読み聞かせをしてもらいましたか。

中学2年生、高校2年生ともに、読書について「好き」「どちらかという好き」と答えた生徒のうち、「よく読んでもらった」「ときどき読んでもらった」「あまり読んでもらわなかった」を合わせた、読み聞かせをもらった経験のある生徒が約9割いる。

【中学2年生】

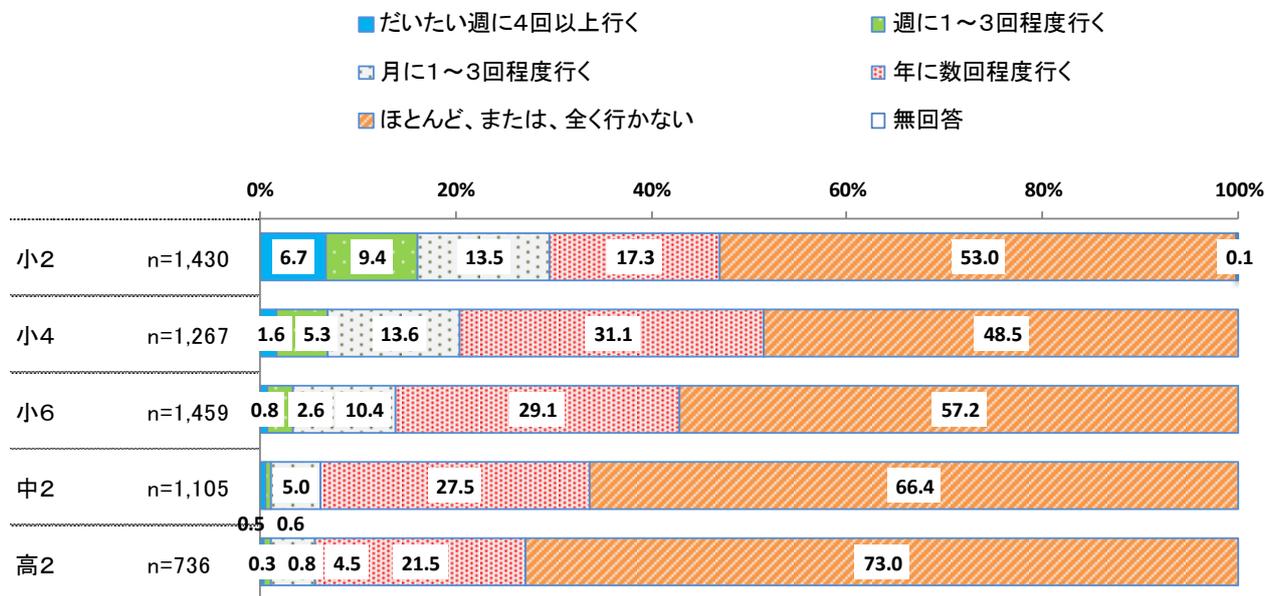


【高校2年生】



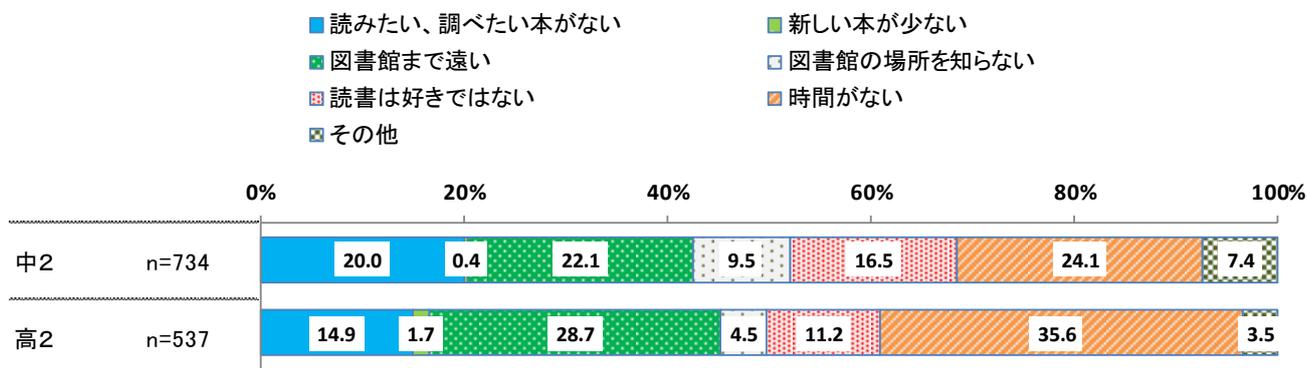
問8. あなたは市立図書館へのくらい行きますか。(1つ選択)

小学2年生、小学4年生、小学6年生、中学2年生と高校2年生では、「ほとんど、または、全く行かない」が最も多く、次いで「年に数回程度行く」、「月に1～3回程度行く」の順になっている。



問8—1. 【中2、高2のみ】問8で市立図書館へ「ほとんど、または全く行かない」と答えた人への質問です。図書館を利用しない理由を教えてください。(1つ選択)

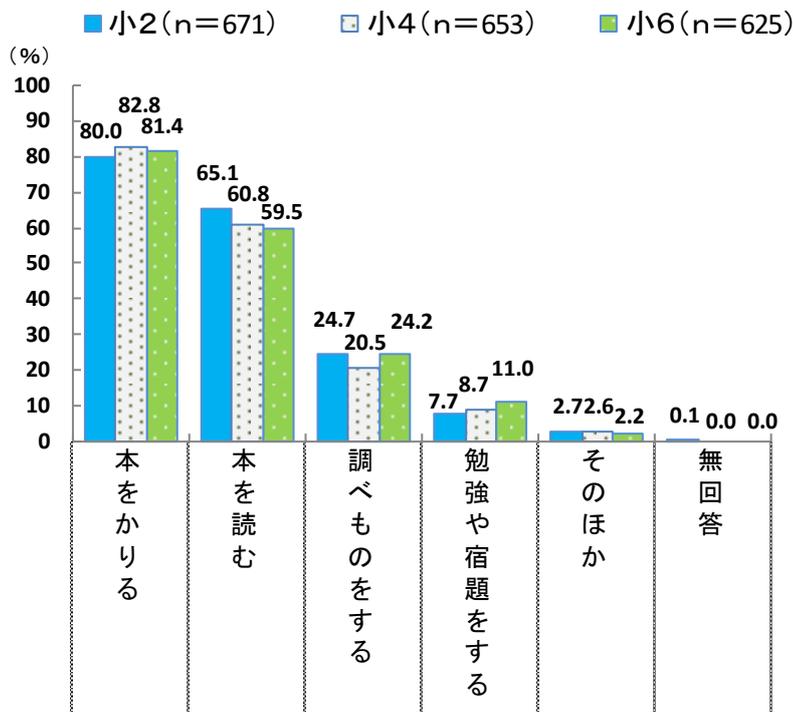
中学2年生では「時間がない」が24.1%で最も多く、高校生でも「時間がない」が35.6%で最も多い。中学2年生、高校2年生ともに次いで「図書館まで遠い」、「読みたい、調べたい本がない」の順になっている。「その他」の回答として、「読みたい本があれば自分で買うから」「家にいる方が落ち着くから」といった回答がいくつかみられる。



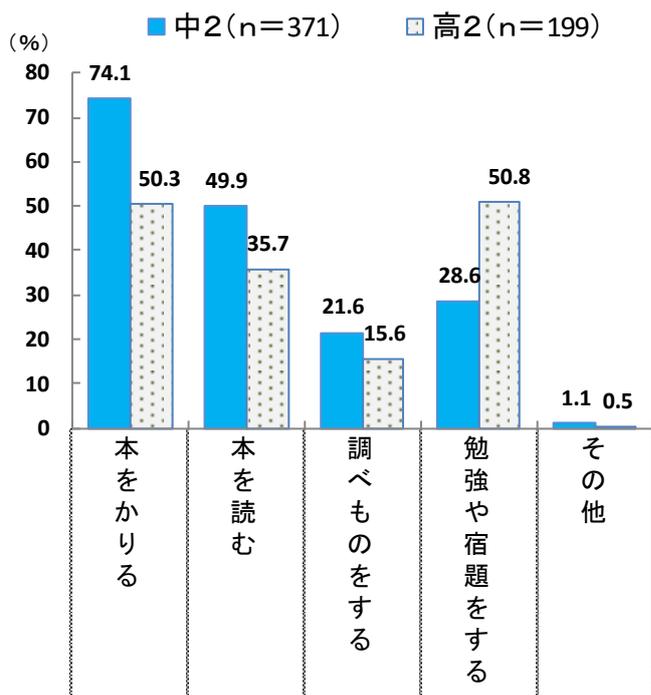
問9. 市立図書館で、どのようなことをしますか。(複数選択)

小学2年生、小学4年生、小学6年生では「本をかりる」が最も多く、次いで「本を読む」、「調べものをする」の順になっている。中学2年生では「本をかりる」が最も多く、次いで「本を読む」、「勉強や宿題をする」の順になっている。高校2年生では「勉強や宿題をする」が最も多く、次いで「本をかりる」、「本を読む」の順になっている。

【小学生】



【中高生】

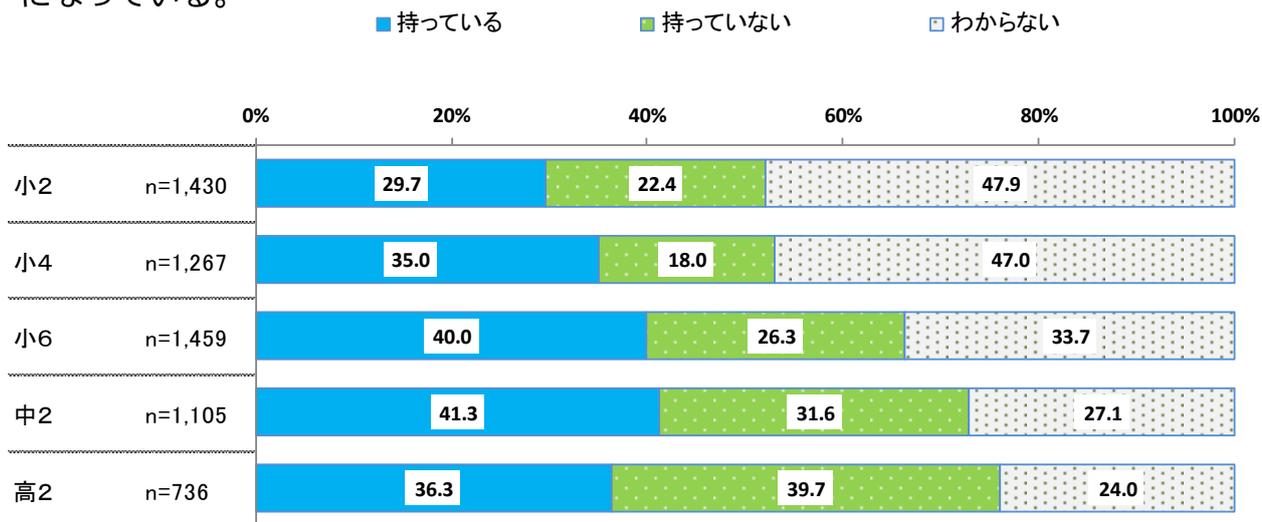


問10. あなたは市立図書館の貸出カードを持っていますか。(1つ選択)

小学2年生と小学4年生では「わからない」が最も多く、次いで「持っている」の順になっている。貸出カードを保護者が管理している可能性が考えられる。

小学6年生では「持っている」が最も多く、次いで「わからない」の順になっている。
 中学2年生では「持っている」が41.3%と最も多く、次いで「持っていない」が31.6%となっている。

高校2年生では「持っていない」が39.7%で最も多く、次いで「持っている」が36.3%となっている。



問1. あなたは、本を読むことが好きですか。

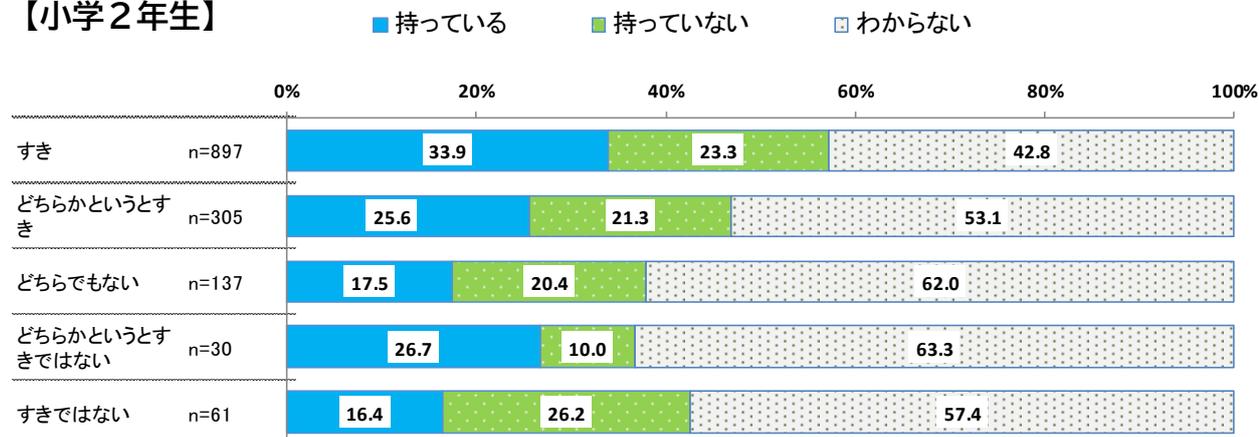
×

問10. あなたは市立図書館の貸出カードを持っていますか。

読書について「好き」と答えた児童が、貸出カードを「持っている」と答えた割合は小学2年生で45.2%、小学4年生で33.9%、小学6年生で54.9%となっている。

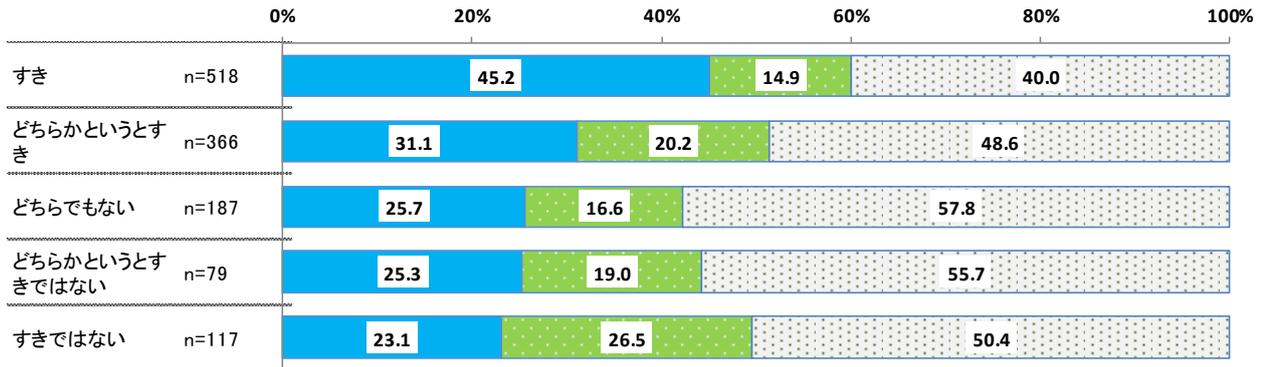
一方、中学2年生と高校2年生では、読書について「好き」と答えた生徒が「持っている」と答えた割合は中学2年生で55.2%、高校2年生で44.4%となっていて、読書が好きな生徒が貸出カードを持っている割合が高くなっている。

【小学2年生】



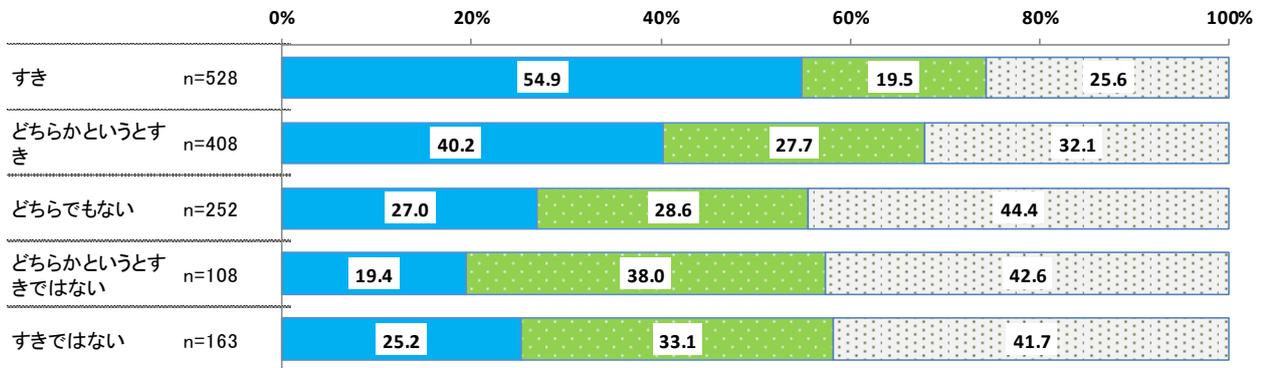
【小学4年生】

■ 持っている ■ 持っていない □ わからない



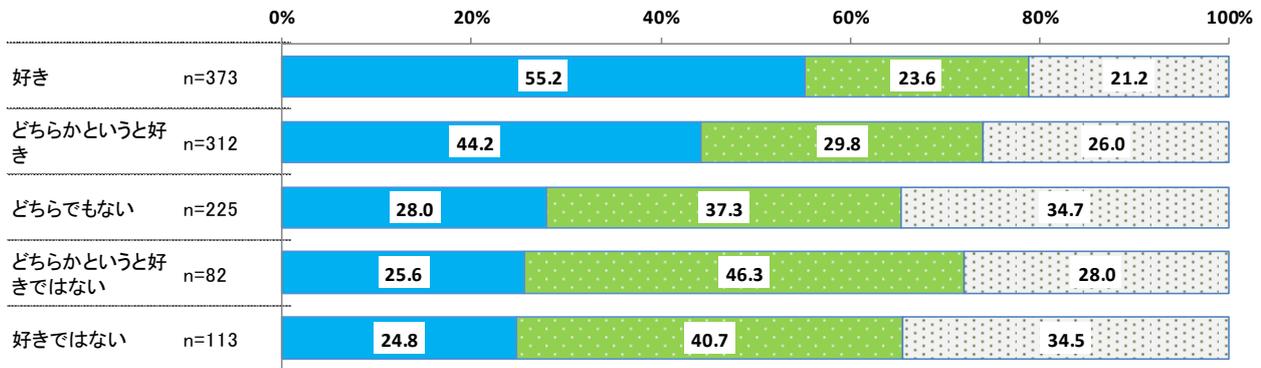
【小学6年生】

■ 持っている ■ 持っていない □ わからない



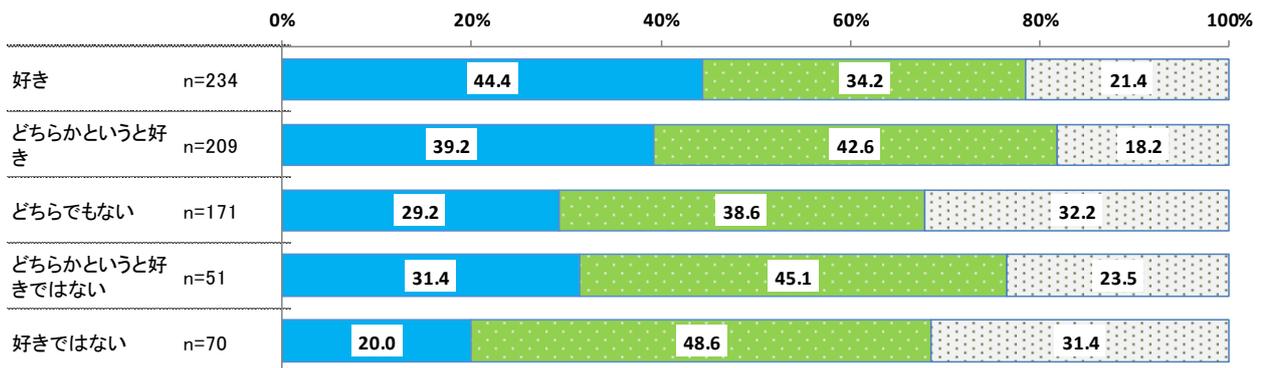
【中学2年生】

■ 持っている ■ 持っていない □ わからない



【高校2年生】

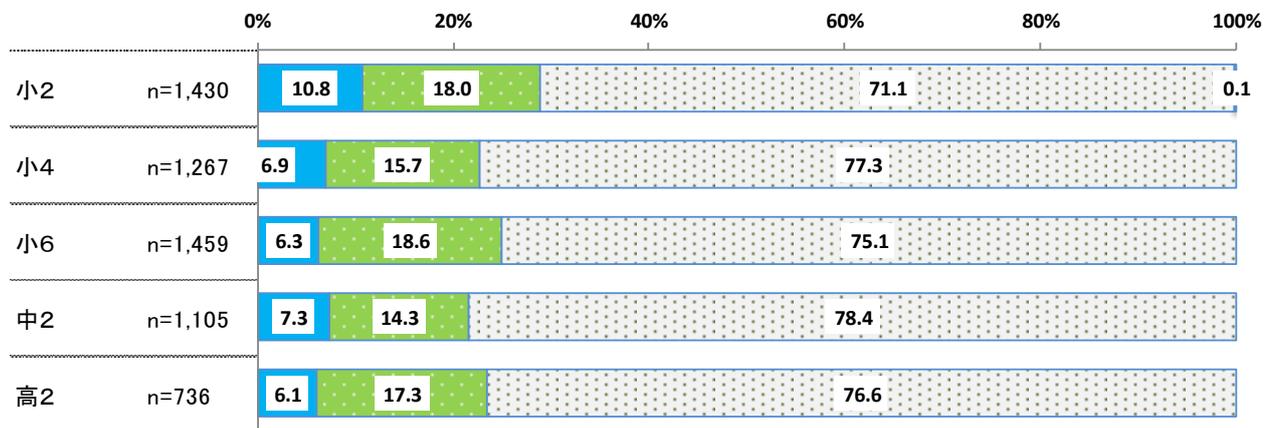
■ 持っている ■ 持っていない □ わからない



問11. 市立図書館の「おはなし会」に参加したことがありますか。(1つ選択)

どの学年でも「おはなし会」を知らない」が最も多く、約7割となっている。次いで、「知っているが参加したことがない」の割合が高くなっている。

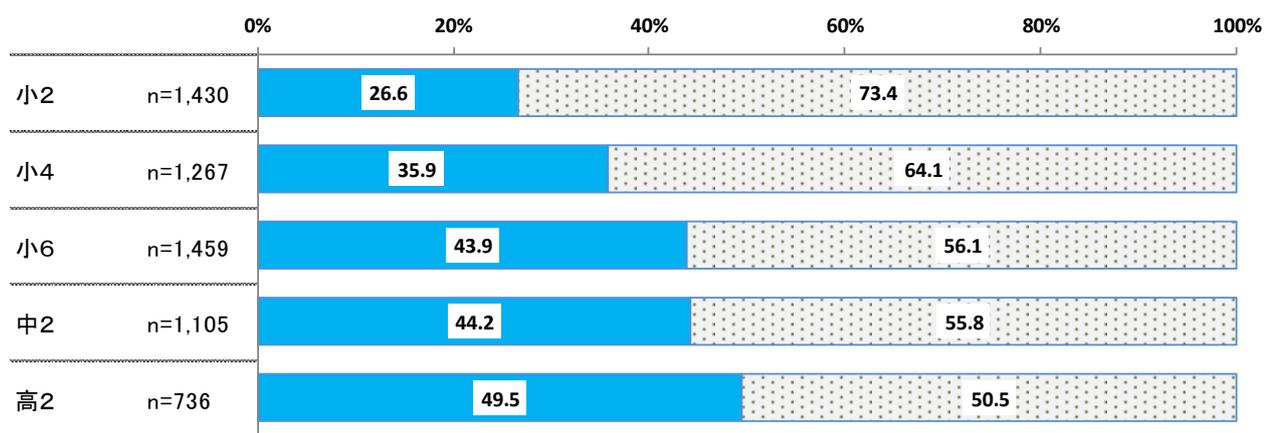
■ 参加したことがある ■ 知っているが参加したことがない □ 「おはなし会」を知らない □ 無回答



問12. あなたは、パソコン、タブレット、スマートフォンなどで電子書籍を読んだことがありますか。※学習漫画は含みます。コミック漫画は除きます。(1つ選択)

どの学年でも、「読んだことがない」と答えた児童・生徒が約5割以上であるが、学年が上がるにつれて「読んだことがある」と答えた児童・生徒の割合が多くなっている。また、高校2年生では、「読んだことがある」と「読んだことがない」の回答の割合がほぼ同数となっている。

■ 読んだことがある □ 読んだことがない



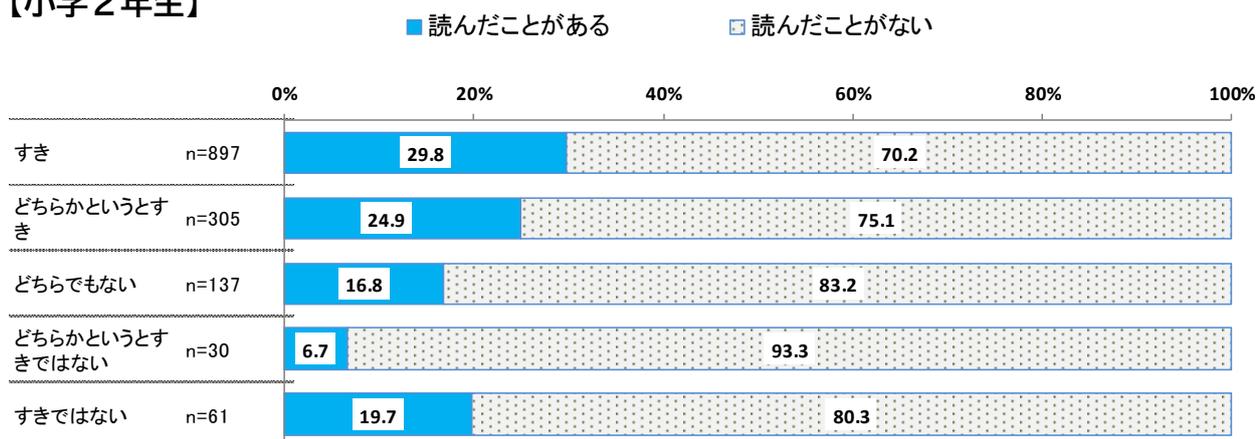
問1. あなたは、本を読むことが好きですか。

×

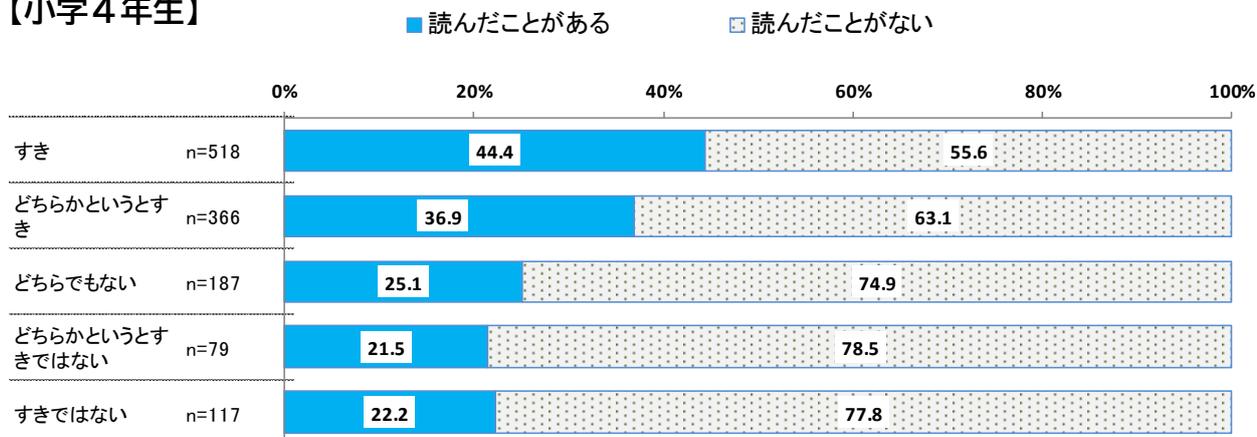
問1 2. あなたは、パソコン、タブレット、スマートフォンなどで電子書籍を読んだことがありますか。

学年が上がるにつれて、読書について「好き」「どちらかというとき好き」と答えた児童・生徒が電子書籍を「読んだことがある」と答える割合が高くなっている。特に中学2年生、高校2年生でその傾向が強くなっている。

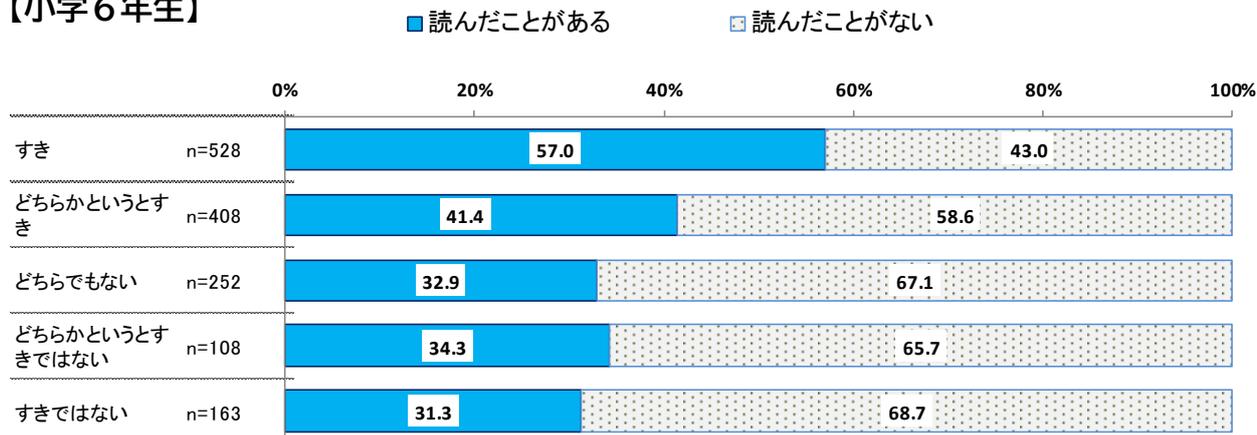
【小学2年生】



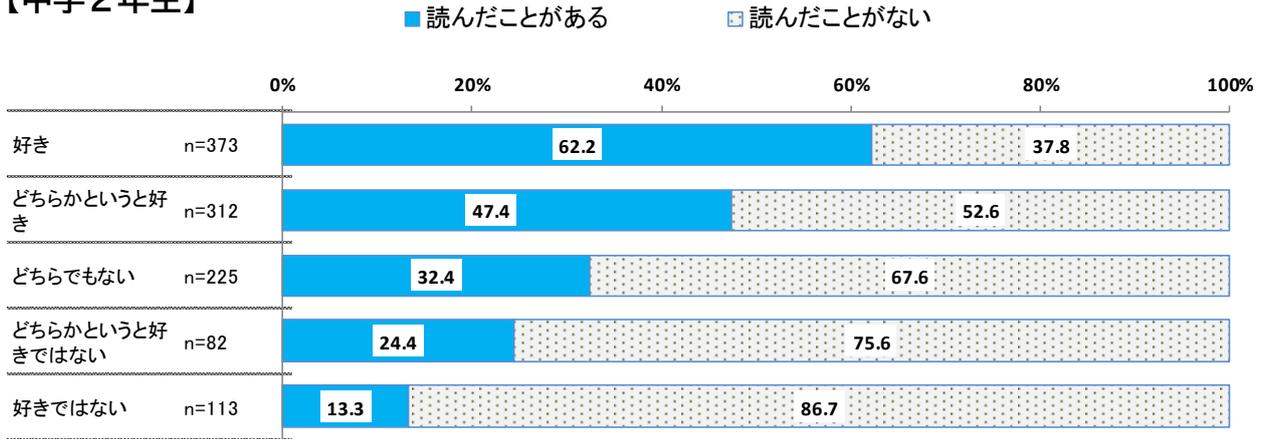
【小学4年生】



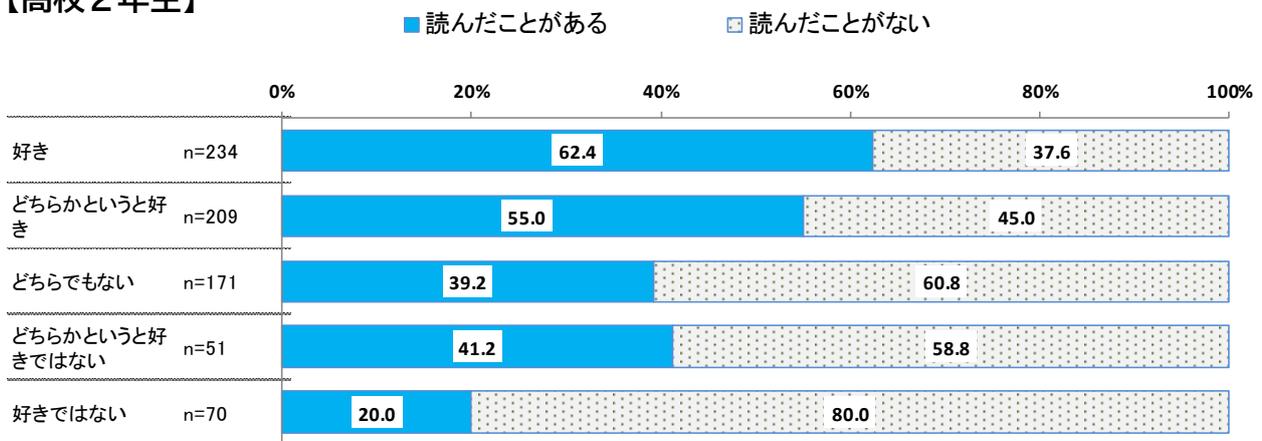
【小学6年生】



【中学2年生】

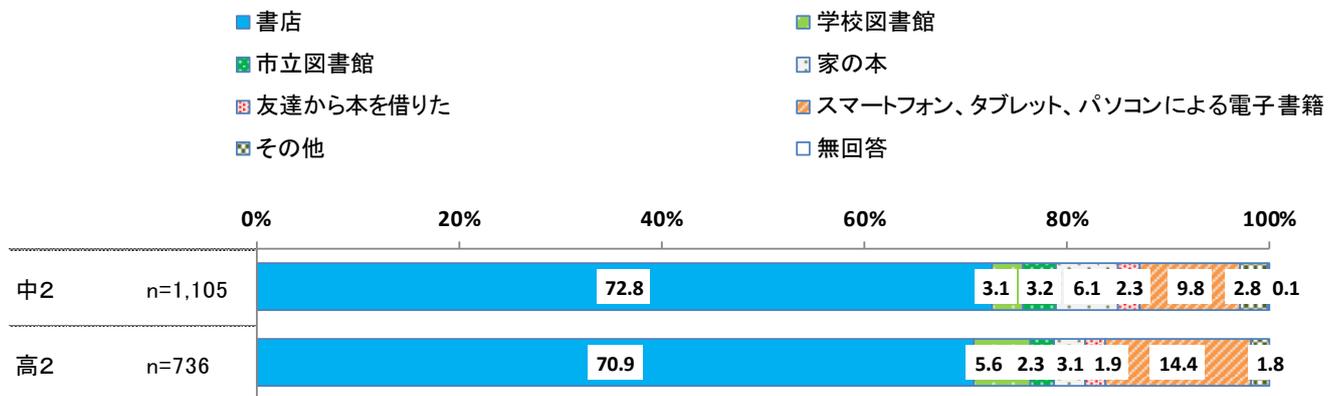


【高校2年生】



問13. 【中2、高2のみ】あなたは読みたい本をどこで入手しますか。(1つ選択)

中学2年生では、「書店」が72.8%で最も多い。次いで「スマートフォン、タブレット、パソコンによる電子書籍」が9.8%、「家の本」が6.1%の順になっている。高校生では「書店」が70.9%で最も多い。次いで「スマートフォン、タブレット、パソコンによる電子書籍」が14.4%、「学校図書館」が5.6%の順になっている。中学2年生、高校2年生ともに約7割が読みたい本を書店で入手している。また、「その他」の回答の中では、「インターネット通販」が多くみられる。



読書活動の課題

児童・生徒では、どの学年においても読書が「好き」と答えた割合が最も高く、保護者においても、子どもが絵本を読むまたは読み聞かせが好きかどうかについて「好き」と答えた割合が最も高くなっている。しかし、年齢が上がるにつれて、「好き」と答えた児童・生徒の割合が低下していることや、1か月に1冊も本を読まない児童・生徒の割合が高くなっていくことから、読書が好きという気持ちを児童期から継続して持ってもらえるような読書機会を増やすことが大切である。

また、保護者においては、忙しくて時間がとれないことで読み聞かせをしない家庭もあることや、中高生においては、インターネットや携帯電話などの電子機器等を使用する時間が増えたことをはじめ、部活動など、他の様々な活動によって読書をする時間がないと答えた割合が高いことから、日々の生活の中で無理のない範囲で、電子書籍の利用を含む読書に触れる時間を作る取組や、子どもたち一人ひとりの興味や行動に合った読書活動の機会を提供していく取組が必要である。